

Sports Directory

英国グローバルスポーツイベント企業ガイド

UK business capabilities to support the delivery of sporting events in Japan

**BUSINESS
IS**

GREAT

BRITAIN & NORTHERN IRELAND



目次

4 global	8
Aggreko Japan 株式会社	8
AndArchitects	9
Arena Group	9
Arup (アラップ)	10
Asif Khan LTD (アシフ・カーン建築設計事務所)	10
ATG Access Ltd	11
Aviramp Ltd	11
BT Japan Corporation	12
C&JA Associates Limited	12
Cellhire plc	13
Chanzo	13
Creative Technology	14
Designwerk	14
Dunlop Goodrich Ltd	15
EFM Management Ltd	15
ES Global Ltd	16
EY Japan	16
FLUX Creative Consultancy	17
FOAMHAND Limited	17
G4S Risk Consulting Ltd	18
Gensler	18
Global Infusion Group	19
Harrod UK Ltd	19
Hesco Group	20
ICON/CSM Live	20
ID Resilience	21
JLT Specialty Limited	21
Kromek Ltd	22
Legion Ltd	22
LEONARDO	23
London Fire Brigade Enterprises Ltd	23
Make	24
Momentum Transport Planning	24
MOSIMANN LTD	25
Mott Mcdonald Ltd	25
Movement Strategies Ltd	26
Ninja Hub	26
Ordnance Survey International	27
Pcubed	27
PKL Group (UK) Ltd	28
Positive Impact Events Ltd	28
Purple+Red Limited	29
Quadratica UK Limited	29
R3S Global Limited	30
Redmandarine	30
RH Consulting	31

株式会社 ライノ・パワ・ジャパン	31
Rider Levett Bucknall	32
Scanna MSC Ltd	32
SecuraSeal Ltd	33
Smiths Detection – Japan	33
SP Services (UK) Limited	34
Space Syntax Limited	34
Stadium Traffic Management Ltd	35
Stage One Creative Services	35
Star Events Ltd	36
Steer Davies Gleave	36
STH Japan	37
STRI Group	37
Sustainable Events Ltd	38
Sutton Vane Associates	38
SV Event Consulting Ltd	39
Tangerine	39
Terraplas	40
Trivandi Limited	40
TrueGold Communications	41
Ultra Electronics Limited	41
UNUSUAL RIGGING LTD	42
Viandengroup Ltd	42
WDSI Limited	43
WilkinsonEyre	43
Wilson Owens Owens Limited	44
Zaun Limited	44
ZIP-CLIP LTD	45

目次 製品・サービスのカテゴリ

宿泊・ホスピタリティー/ケータリングサービス

Arena Group	9
Global Infusion Group_GIG	19
MOSIMANN LTD	25
Ninja Hub	26
Stadium Traffic Management Ltd	35
STH Japan	37
Tangerine	39
Trivandi Limited	40
TrueGold Communications	41
Viandengroup, Ltd	42

コンサルティングサービス

4 global	9
Arena Group	10
Arup (アラップ)	12
C&JA Associates Limited	13
Chanzo	13
Creative Technology	14
Designwerk	14
EFM Management Ltd	15
ES Global Ltd	16
EY Japan	16
FLUX Creative Consultancy	17
FOAMHAND Limited	17
G4S Risk Consulting Ltd	18
Gensler	18
Global Infusion Group_GIG	19
Hesco Group	20
ID Resilience	21
JLT Specialty Limited	21
Legion Ltd	22
Momentum Transport Planning	24
Mott Mcdonald Ltd	25
Movement Strategies Ltd	26
Ninja Hub	26
Ordnance Survey International	27
Pcubed	27
PKL Group (UK) Ltd	28
Purple+Red Limited	29
Quadratica UK Limited	29
R3S Global Limited	30
Redmandarine	30
RH Consulting	31
株式会社 ライノ・パワ・ジャパン	31
Rider Levett Bucknall	32
Space Syntax Limited	34
Stadium Traffic Management Ltd	35
Steer Davies Gleave	36
STRI Group	37
Sustainable Events Ltd	38
Sutton Vane Associates	38
SV Event Consulting Ltd	39
Tangerine	39
Trivandi Limited	40
UNUSUAL RIGGING LTD	42
Viandengroup Ltd	42
WDSI Limited	43
Wilson Owens Owens Limited	44

デジタル技術・ソフトウェア・音響/映像

BT Japan Corporation	12
Cellhire plc	13
Creative Technology	14
Legion Ltd	22
RH Consulting	31
Steer Davies Gleave	36
Tangerine	39

エンジニアリング・建築

Aggreko Japan 株式会社	8
AndArchitects	9
Arup (アラップ)	10
Asif Khan LTD (アシフ・カーン建設設計事務所)	10
Aviramp Ltd	11
ES Global Ltd	16
Gensler	18
Harrod UK Ltd	19
Legion Ltd	22
Make	24
Momentum Transport Planning	24
Mott Mcdonald Ltd	25
Movement Strategies Ltd	26
PKL Group (UK) Ltd	28
株式会社 ライノ・パワ・ジャパン	31
Space Syntax Limited	34
Stage One Creative Services	35
Star Events Ltd	36
Steer Davies Gleave	36
STRI Group	37
Sutton Vane Associates	38
Trivandi Limited	40
UNUSUAL RIGGING LTD	42
WilkinsonEyre	43
Wilson Owens Owens Limited	44
ZIP-CLIP LTD	45

イベントマネジメント・ロジスティクス

EFM Management Ltd	15
ES Global Ltd	16
FLUX Creative Consultancy	17
FOAMHAND Limited	17
Global Infusion Group	19
ICON/CSM Live	20
ID Resilience	21
London Fire Brigade Enterprises Ltd	23
MOSIMANN LTD	25
Ninja Hub	26
Positive Impact Events Ltd	28
Purple+Red Limited	29
R3S Global Limited	30
Redmandarine	30
株式会社 ライノ・パワ・ジャパン	31
Stadium Traffic Management Ltd	35
Steer Davies Gleave	36
Sustainable Events Ltd	38
SV Event Consulting Ltd	39
Terraplas	40
Trivandi Limited	40
Viandengroup Ltd	42
WDSI Limited	43

ファシリティマネジメント

Aggreko Japan 株式会社	8
Aviramp Ltd	11
PKL Group (UK) Ltd	28
株式会社 ライノ・パワ・ジャパン	31
STRI Group	37
Terraplas	40
Trivandi Limited	40

目次 製品・サービスのカテゴリ

マーケティング・PR

Designwerk	14
Dunlop Goodrich Ltd	15
ICON/CSM Live	20
Ninja Hub	26
Positive Impact Events Ltd	28
Redmandarine	30
株式会社 ライノ・パワ・ジャパン	31
Sustainable Events Ltd	38
TrueGold Communications	41

セキュリティサービス

4 global	8
Arup (アラップ)	10
ATG Access Ltd	11
BT Japan Corporation	12
C&JA Associates Limited	12
G4S Risk Consulting Ltd	18
Hesco Group	20
ID Resilience	21
Kromek Ltd	22
LEONARDO	23
London Fire Brigade Enterprises Ltd	23
Quadratica UK Limited	29
R3S Global Limited	30
Scanna MSC Ltd	32
SecuraSeal Ltd	33
Smiths Detection – Japan	33
SP Services (UK) Limited	34
Stadium Traffic Management Ltd	35
Trivandi Limited	40
Ultra Electronics Limited	41
Zaun Limited	44
ZIP-CLIP LTD	45

通信

BT Japan Corporation	12
Cellhire plc	13
SP Services (UK) Limited	34
TrueGold Communications	41
Ultra Electronics Limited	41
WDSI Limited	43

群集管理・案内/誘導

FOAMHAND Limited	17
G4S Risk Consulting Ltd	18
Gensler	18
Hesco Group	20
ICON/CSM Live	20
Legion Ltd	22
Momentum Transport Planning	24
Movement Strategies Ltd	26
Space Syntax Limited	34
Stadium Traffic Management Ltd	35
Steer Davies Gleave	36
Trivandi Limited	40
WDSI Limited	43
Wilson Owens Owens Limited_WOO	44

英国グローバルスポーツイベント企業ガイドの発刊に寄せて

このたび、グローバルスポーツイベントの企画、運営に携わる英国企業75社を掲載した日本語版企業ガイドを皆様にご紹介できますことを大変嬉しく思います。

英国は国際的なスポーツ大会を数多く開催してまいりましたが、最近では特に2012年のロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会、2015年のラグビーワールドカップイングランド大会と、スポーツイベントの中でもとりわけ大規模で多くの観衆を集める大会を次々と成功に導いた実績があります。この成功の鍵となったのは多くの専門性を持った英国企業です。これらの企業は、国際的なスポーツ大会に関わることで得たノウハウや経験を他国で開催されるスポーツイベントにも生かすべく、現地の企業のパートナーとなり、イベントを成功させ、良きレガシーを次世代に残すお手伝いをしてきました。スポーツイベントの開催地がどこであれ、大会においてその専門性を提供し続けている企業が英国には多数存在します。

本企業ガイドに掲載されている英国企業のほとんどは、ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会あるいはラグビーワールドカップイングランド大会に関わった経験があります。そして、これらの企業は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ日本大会の開催を控える日本の皆様にぜひ協力させて頂きたいと、強い関心を寄せております。

オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップは、多くの人々にとって一生に一度しか自国で開催されない特別なグローバルスポーツイベントと言われています。そのようなスポーツイベントをこれから続けて主催なさる日本の皆様にとって、本企業ガイドが大会成功の一助となれば幸いです。また、これを機会に、スポーツイベント産業という新しい分野での日英両国の交流がいっそう深まりますことを心から願っております。



駐日英国大使
ポール・マデン



4 global

Building 3, Chiswick Business Park, 566
Chiswick High Road,
London W4 5YA, UK
www.4global.com

Egemen Onen
Head of Practice, Major Event Consultancy
+44 75 9858 4847
egemen.onen@4global.com

4 globalは、国際的な大規模イベントやスポーツビジネスのコンサルタント会社です。本社はロンドンにあり、サテライトオフィスはリオデジャネイロ、シドニー、マドリード、イスタンブールにあります。2000年シドニー大会以降、全ての夏季・冬季オリンピック、パラリンピックに携わっています。4 globalに在籍する専門家たちは、大規模イベントの企画・実行において業界をリードする専門知識を持っています。

弊社の主要な専門分野は下記のとおりです。

- (1) 運営の準備、統合、C3(指揮、統制、通信) (2) 安全(脅威・リスクの評価/設計審査/計画立案/プログラム実行)
(3) 危機管理(財政/安全/時間尺度)

4 globalの情報管理システム(IMS)は、イベントや会場が適切な情報を入手し適切な相手に適切なタイミングで伝達するのに役立ち、正しい判断を可能にします。IMSは、私たちが独自に得たイベント経験と業界の助言を取り入れ、自社内のソフトウェア開発チームにより開発されました。当社のIMSは、シンプルで効果的であり、信頼性と回復力があります。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

- 2020年ドバイ国際博覧会:会場全体の安全コンサルタント
2016年リオデジャネイロオリンピック:大会全体の準備コンサルタント
2014年ソチオリンピック:大会全体の準備コンサルタントと戦略アドバイザー
2014年コモンウェルスゲームズ グラスゴー大会:安全プログラムの実行・戦略アドバイザー、準備アドバイザー
2008年北京オリンピック:準備アドバイザー
国際オリンピック委員会(IOC):危機管理計画・運営準備のアドバイザー
(1) IOCに対して大会準備の戦略計画を立案、IOC事案・危機管理計画を立案。(2) 大会準備/危機管理シミュレーションを策定・実行。(3) C3に関するアドバイス、IOC大会調整室の設立・運営の準備。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドン大会において、4 globalは移行から実行までほぼ全ての段階で下記を含む数多くのプログラムに専門的な支援を提供しました。

- (1) 建設プログラムにおける危機管理・保証の枠組みを開発・実行。(2) オリンピック・パークのインフラが業界の成功事例を確実に採用するよう、設計、設置、作業に焦点を置いた、建設のマスタープランに関するアドバイス (3) オリンピック・パークの安全インフラの必要条件の定義付け。(4) 確実に利害関係者それぞれの要望を特定し取り組まれるよう、広範囲な利害関係者の関与プロセスを策定・実行。(5) 安全運営の準備、安全インフラ、会場警備計画を含む業務範囲の開発。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

- 4 globalの専門家たちは、大会全体の安全プログラムの策定、指揮、実行をするよう任命され、弊社のIMSは大会期間中、メイン調整センターにおいて、大会全体の情報・危機管理に使用されました。
4 globalが2015年イングランド大会に貢献したこととしては、下記が挙げられます。
(1) セキュリティチームの人材採用、チームを作りと指揮。(2) 全ての会場で安全の計画・手順開発が確実に実行されるようリード。
(3) ファンクショナルエリアの予算管理。(4) セキュリティスタッフ:請負業者の開発をリード。
全ての開催都市の警察のC3組織をマッピングし、大会のC3組織への組み込みを確かなものとする。



Aggreko Japan 株式会社

〒104-0061
東京都中央区銀座 8-17-5
アイオス銀座 1004
www.aggreko.co.jp

古谷光司 (John Herald Chong)
イベントセールスマネージャー
03 6260 6800
Johnherald.chong@aggreko.co.jp

アグレコは、英国に本社を置くモジュラー型発電プラントとのオペレーティングレンタル事業者で、英国グラスゴーで組み立てられた機材を世界100カ国200拠点で運用している。大型の発電プラントのみならず、温度調整(冷凍機等)、発電負荷試験機器等の単体機器のレンタルとエンジニアリングサービスも提供しています。発電機レンタル規模は10GWで世界最大。機器が世界共通仕様であるだけでなく、技術者のスキルレベルも標準化しており、世界のどこでも高い品質のレンタルサービスが提供できます。日本においても、電力、製鉄、石油・ガス、化学、各種製造業、イベント向け等にて実績が蓄積しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

弊社は、夏冬のオリンピック・パラリンピック、アメリカンフットボール、ラグビーやサッカーのワールドカップ、クリケット、ゴルフ、テニストーナメントなど、様々なメジャーイベント向けにレンタルサービスを提供しています。これらは、短期間、且つ、様々な制約の中で行う必要があるため、設計、ロジスティック計画、据付・試運転・大会期間中のメンテナンスサポートから、短期間での撤去まで、経験豊富なオペレーションチームがマネジメントを行うことができます。メジャーイベントとしては、IOC、FIFA、UEFA、CGF、NFL、Red Bull、PGA、Ryder Cup、IAAF、Asian Games、and Pan-American Games などがあります。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

弊社は、2012年のロンドンオリンピック・パラリンピック大会の正式なテンポラリーパワーサービスプロバイダーです。アグレコのエンジニアリング技術陣は、ロンドン大会委員会(LOCOG)の厳しい要求と会場毎の制約を加味した、電源供給ソリューションを設計し、実行を行いました。

以下がその主な内容です:

- 260 MW のテンポラリー電源
- 550 大の発電機
- 1,800 キロメートルの電線
- 5,500 個の分電盤
- 39 箇所に配電
- 150 人のアグレコのエンジニアリングサポートチーム
- 各会場の電源、国際放送センター用電源、開会式と閉会式用の電源

本ロンドン大会は、英国のイベントでは過去最大規模で、世界で40億人が観戦しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

アグレコは、2015年の英国でのラグビーワールドカップにおいて、仮設電源、空調・温度調整、電線、分電盤を、全ての会場とVIPルーム等ホスピタリティー用施設に提供致しました。

弊社は、大会組織委員会とホスピタリティーエージェンシーと緊密にコミュニケーションを取り、ロジスティック、燃料供給、労働者の派遣、及び、設備の費用が最小になるように対応しました。

弊社は、大会開催地が英国に決定する以前の段階から、設計サポートとプロジェクトのスコーピングと概算予算策定協力を行い、その後の実行段階での乖離が生じないよう、貢献致しました。

AndArchitects

AndArchitects

16 Mandeville Courtyard
142 Battersea Park Road
London SW11 4NB
www.andarchitects.co.uk

Manuel Nogueira
Director
+44 20 7720 5999
manuel@andarchitects.co.uk

AndArchitectsはロンドンを拠点とする建築事務所です。1998年創業で、スポーツ・スタジアム部門からスタートしました。最近では、2012年ロンドンオリンピックのスポンサー向けパビリオンで成功を収め、2016年リオデジャネイロオリンピックのハンドボール会場の設計に参加。現在、新たに刺激的なプロジェクトを探しています。AndArchitectsはスポーツ、ホスピタリティ、商業施設、住宅各部門ですばらしい経験を重ね、英国内外で数多くの案件に携わってきました。オフィスはますます顧客数を増やしており、ブラジルのサンパウロとリオデジャネイロにパートナーのオフィスがあります。英国のBD (Building Design) が主催するThe Architect of the Year Awardsの2017年スポーツ・レジャー部門で、ファイナリストに選ばれました。顧客は、主要サッカークラブやラグビークラブをはじめ、海外の銀行、ホテル、英国の自治体や政府組織だけでなく個人も含め幅広くカバーしています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

AndArchitectsは、2012年ロンドンオリンピック、2016年リオデジャネイロオリンピックをはじめとするメジャースポーツイベントで常に実績を重ねてきました。2016年リオデジャネイロオリンピックでは、地元の建築家とチームを組み、ハンドボール会場を設計。このアリーナのコンセプトは大会後もリオデジャネイロに役立つものを作ることにありました。オリンピックで使用された後は、解体し、4つの学校に組み立て直す予定です。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドンオリンピックでは優れた建物を担当、オリンピックパーク内で、EDFパビリオン、BPパビリオン、パーク内のBPウォーク、コカ・コーラ・パビリオン、BMWパビリオン、ホスピタリティセンターなど、メインスポンサー向けにさまざまなパビリオンを披露しました。BPパビリオンをKBWと設計。宙に浮いているように見える長方形の競張りのファサードが特徴的で、周囲の様子を映し出し、人が近づくと反射したイメージがパークやパビリオンと混じり合います。さらに、EDFパビリオン、コカ・コーラ・パビリオン、BMWパビリオンやホスピタリティも建築請負業者としてかかわりました。オリンピックの展示パビリオンには、特別なディテールがいろいろあり、初期段階から設計チームの他のメンバーとの協力が不可欠で、何よりも、納期と高い要求に応えられる専門下請け業者の厳選は重要でした。



Arena Group

Arena Group Head Office, 4 Deer
Park Road, South Wimbledon,
London SW19 3GY, UK
www.arenagroup.com

Paul Berger
CEO- Middle East & Asia Division.
+971 43 470 110 or +971 50 625 0896
pberger@arenagroup.com

Arena Groupは100年以上前に英国で創立しました。現在ではグローバル・イベント・サービス会社として、収益は1億5,000万米ドル以上、800人を超える従業員を抱えています。本部はロンドンですが、世界各地に事務所と倉庫があります。米国の本拠地はシカゴです。中東はドバイ、アジア地域はクアラルンプールと香港になります。オーバーレイのコンサルティングと国際競技大会に関する専門知識・技術の提供を行います。さらには、国際レベルの仮設会場・仮設スタジアム向け仮設観客席設置だけでなく、競技大会用のマーキーテントや仮設構造物も提供します。構造物の設計、設営、内装はArena Interiorsが担当。Arena Groupは、世界規模の競技大会に対応可能な一流のホスピタリティ施設を提供するためにレンタルファニチャーの在庫商品を豊富に取り揃えており、社内には充実した設計の専門知識を有しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

Arena Groupは、継続的に国際的な競技団体や組織委員会、スポーツプロモーターと緊密に連携。顧客は、IOC (2012年ロンドン大会)、FIFAワールドカップおよびFIFAクラブワールドカップやチャンピオンズリーグ、ラグビーワールドカップ2015、IMGなど。ウィンブルドン、ライダーカップ、全英オープン、プレジデンツカップ(韓国)、F1アブダビGP、フォーミュラE香港大会、RWC 2015各大会の仮設建造物、観客席、ファニチャー用品をすべて提供しました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

Arena Groupはホース・ガーズ・パレードでのビーチバレーボール会場に18,000人収容の仮設スタジアムを提供、その他にイトン・ドニーでのポート会場の観客席および構造物、エクセルでの柔道、卓球、体操などの競技会場観客席を提供しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

Arena GroupはRWC 2015のオーバーレイコンサルティングを専任し、40を超えるRWC 2015各会場の仮設設備の設計・搬入を担当しました。また、同ワールドカップの構造物、仮設観客席、ファニチャーも提供しました。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
ベリー・ジャパン株式会社
& 日建リース工業株式会社
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町 31-4 箱崎
314 ビル 8F
03 5642 6102
Tomotaka.ito@perijapan.jp

ARUP

Arup (アラップ)

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町 24-4
東武富士ビル 3F
www.arup.com/japan

小栗 新
プリンシパル / 日本における代表者
03 3461 1155
tokyo@arup.com

アラップは国際的な業務展開を行うエンジニアリング・コンサルティング会社であり、建築・土木・産業施設関連の分野において、技術設計、企画、プロジェクトマネジメント業務を行っています。構造設計をはじめとした技術設計、それに伴うコンサルティング業務、さらに企画から完成、その後の運営・維持まで、プロジェクトの各段階で求められる多様なサービスを提供しています。また各種サービスは、単独でも、いくつかの組み合わせでも、クライアントニーズに即して柔軟に対応しています。現在、世界40ヶ国、92カ所の事務所に13,000人以上のスタッフを擁しています。日本では1989年に、設立されて以来、25年以上にわたり、日本における数少ない外資系エンジニアリング・コンサルティング会社(一級建築士事務所登録)として事業を推進しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

オリンピック・パラリンピック大会において、2012年ロンドン大会(下記参照)のほか2008年北京大会における、メインスタジアムや水泳競技場の新設、馬術会場オーバーレイ、2000年シドニー大会におけるテニスセンター、ペドロームの新設、1996年アトランタ大会における仮施設等、様々な会場のために総合的な技術設計を提供しました。冬季大会においても、2006年トリノ大会のホッケー会場、2002年ソルトレイクシティ大会のスピードスケート会場の計画に関わりました。また、オリンピック候補都市の立候補計画もサポートしています。

FIFAサッカーワールドカップ大会については、2022年の開催予定地であるカタールではスタジアムに加え、交通を含む都市レベルの計画を提供し、過去の大会では、2006年の開幕戦と準決勝の会場としても使用されたアリアンツアリーナをはじめとして、数多くのスタジアムの設計に関わっています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

アラップは、2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック大会のためのインフラ・会場計画において、中心的な役割を果たしました。その範囲は戦略・計画づくりから運営段階まで、さまざまな分野にわたっています。オリンピックパーク内外の基盤施設、ランドスケープ、市内の道路・公共交通の大会中のモデリングやパーク内の群集流動、セキュリティ、サステナビリティなど、大会準備から大会後の“レガシー”への転換プロジェクトに関わり、現在に至るまで周辺コミュニティの持続的な発展に貢献しています。また、新築施設アクアティクスセンター、ハンドボールコート、イートンマナーの会場など、構造・設備設計に加え、照明、情報テクノロジーなどのイベントに欠かせない、総合的な技術設計を提供しました。

Asif Khan

Asif Khan LTD (アシフ・カーン建築設計事務所)

1-5 Vyner street,
London E2 9DG, UK
www.asif-khan.com

小橋 咲子
ディレクター、創設メンバー
+44 20 8980 3685
sakiko@asif-khan.com

アシフ・カーン建築事務所は数々の受賞歴のあるロンドンの建築設計事務所です。文化施設やパブリック・イベント・スペースを中心に設計、調査、監理業務を主にしています。ロンドン・オリンピック、ソチ・オリンピックではスポンサー企業パビリオンの設計をいたしました。現在の主たるプロジェクトに新ロンドン博物館設計、アサナ国際博覧会英国館設計などがあります。

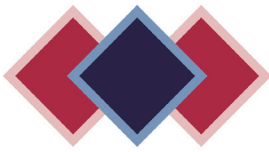
私たちは伝統的な設計アプローチを大切にすると共に、新しい試みにも挑戦しています。複雑で時間が限られたプロジェクトの監理、クリエイティブな企画の構想、最新技術の調査、新しいインタラクティブの開発など、コンセプトの段階から広いアングルで空間デザインをしていきます。私たちはコラボレーションを得意とし、一般大手企業から政府パブリックセクター等、様々なバックグラウンドのクライアントとのコミュニケーションを要しプロジェクトを作り上げていきます。現在は英国・ロンドンを拠点としておりますが、事務所内に日本語で日本との仕事をする専門チームを設置しております。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2014年ソチ冬季オリンピック・パラリンピック大会のメガフェイス社パビリオン (スポンサー企業パビリオン) メガフェイス・パビリオンはソチ冬季オリンピック・パラリンピックにスポンサー企業メガ・フォン社のパビリオンとしてアシフ・カーンが設計しました。最新デジタル技術を使った建築でもあり、アート作品でもあります。名前の通り、様々な顔をもつパビリオンとして大変注目を浴びました。コンセプト作りからパビリオン完成までたった367日という限られた時間の中で作られた作品でしたが、カンヌライオンのイノベーション・プロジェクトのクランプリ受賞を始め、26の世界各国のデザインアワードを受賞しました。パビリオンは世界初の可動式スクリーン・ファサードを特徴とし、スキャンされたゲストの顔が自由の女神のサイズにファサードに浮かび上がるというゲスト参加型のインスタレーションです。ロシアのクライアントやゼネコンとも緊密に協働しました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック大会のコカコーラ社ビートボックス (スポンサー企業パビリオン) スポンサー企業であるコカ・コーラ社のパビリオンとして音楽と光のインタラクティブな空間を設計しました。ビートボックスと名付けられたこのパビリオンは建築が楽器のように音楽を奏でることが出来る作品です。そのコンセプトの強さから、コカ・コーラ社が初めて自社のロゴを使わないで作ったオリンピック・パビリオンとしても有名になりました。国内外の数々のデザイン賞を受賞。オリンピック期間中4週間で20万人の来場者があり、240万人が見に来た、ロンドン・オリンピック会場の中でも最も人気があるパビリオンとなりました。アシフ・カーンは「今の英国で一番おもしろい若手建築家を探す」という方針のコンペティションで一位をとり、このパビリオンを設計することになりました。ロンドンオリンピック・パラリンピック組織委員会とも緊密に協働しました。



ATG ACCESS

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
サノヤス・エンジニアリング株式会社
 (自動式ボラード)
 〒 559-0016
 大阪市住之江区西加賀屋 2-2-11
 06 6684 2022
 Yamanaka@sanoyas-eng.co.jp
帝金株式会社
 (固定ボラード & バリア)
 〒 542-0081
 大阪市中央区南船場 4-6-21
 06 6252 3366
 tsugita@teikin.co.jp

ATG Access Ltd

CoBaCo House, North Florida Road,
 Haydock Industrial Estate, Haydock,
 Merseyside WA11 9TP, UK
 www.atgaccess.com

Gravin Hepburn
 Sales & Marketing Director
 +44 84 5675 7574
 marketing@atgaccess.com

ATG Accessは、テロ対策用ハイセキュリティボラード、バリア、ロードブロッカー、ゲートなど車止めシステムの世界トップメーカーです。現在の輸出先は世界42カ国以上で、30を超える訓練を受けた代理店のネットワークが各国に張り巡らされています。日本でも定評のある代理店と提携を結んでおります。

優れた技術力とテロ対策の画期的な製品に絶大な自信を持つATG。衝撃試験の実績とその規格に準じた幅広い製品群は業界でもトップを誇ります。物理的なセキュリティソリューションは広範な基盤や施工場所のシナリオに対応するために開発されてきました。ATGのソリューションなら、決して安全対策があからさまに人目につくことなく、ストリートファニチャーとの融合や、景観に合うスリープを使用した設置が可能です。ATG Accessでは、設計から試験、製造、設置、維持までハイセキュリティ設備向けのトータルなサポートサービスを提供します。シンガポール、米国、UAE、英国、インドの各地に製造施設と広範な関係会社があるので、世界中どこでもハイセキュリティが求められる施工場所の支援に対応いたします。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

過去10年、ATG Accessは様々な国の顧客とスポーツや大会の分野で事業を展開してきました。

主な施工場所

- エミレーツ・スタジアム、アーセナル・フットボール・クラブ
- ウィンブルドン・イングリッシュ・テニス・クラブ
- ウェンブリー・スタジアム、サッカーイングランド代表スタジアム
- グラスゴー・ペドローム
- セルティック・スタジアム
- トッテナム・ホットスパーFCスタジアム
- ミレニアム・スタジアム、カーディフ
- マンチェスター・シティ・フットボール・クラブ
- マンチェスター・ユナイテッド・フットボール・クラブ
- リバプール・フットボール・クラブ
- アル・アイン・スタジアム、アブダビ
- 2012年ロンドン大会オリンピック会場(英国全土25カ所)

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ロンドンオリンピック2012で幅広いハイセキュリティ製品を開発・試験を実施。物理的なセキュリティソリューションは、様々な仮設セキュリティ(表面に取り付けるタイプの衝撃試験にも合格した車両止めで歩行者の往来を妨げることなく、迅速な設置で車両の進入を防ぐことが可能)から、会場にその後のレガシーとして組み込まれる常置セキュリティ製品まで幅広く開発しました。また、会場に合わせたソリューションとしてふさわしいかの統合測定を実施しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

英国の多くのスタジアムではロンドンオリンピック2012やスタジアムの再建の結果、RWC 2015に先駆けて安全対策がすでに構築されており、このような会場および製品はセキュリティ強化や大会運営の効率最大化を実現させました。



GROUND SUPPORT EQUIPMENT
 THE GATEWAY TO STEP-FREE BOARDING

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
仁和貿易株式会社
 〒 104-0061
 東京都中央区銀座 5-12-13
 銀座伊藤ビル 6F
 03 6264 3588
 Fax: 03 6264 3589
 k-kosaka@jinwatrading.com

Aviramp Ltd

Aviramp Ltd, Stafford Park 15, Telford,
 Shropshire, UK
 TF3 3BB
 www.aviramp.com

Graham Corfield
 CEO
 +44 19 5229 1220
 graham@aviramp.com

英国を拠点とした独立系のメーカーの Aviramp GSEは、航空業界専用の画期的な航空機地上支援機材一式の設計・開発しています。CEOのグラハム・コアフィールドは、業界トップクラスのエキスパートやスペシャリストと取り組み、空港、航空会社、旅客サービス企業、PRMサービス業者、乗客などあらゆる主要関係者に向けたこの革新的な製品を紹介しています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドン大会のアクセシビリティ増強のために、空港タラップの設計をしました。



BT ジャパン株式会社

〒107-6024
東京都港区赤坂1丁目12番32号
アーク森ビル24階
www.globalservices.bt.com

上羽場 憲治
エクスターナル・リレーションズ 部長
03-5562-6109
kenji.kamihaba@bt.coml

BTジャパン株式会社はマネージドネットワークITサービスの世界トップ企業であるBT グローバルサービス社の傘下にあります。BT グローバルサービスは世界170カ国以上の国々で事業を展開しており、お客様のビジネスの成功をお手伝いするサービスを各地で提供しています。1985年に日本での事業を開始しました。光栄にもBTジャパンは東京に事務所を置いた初めての外国通信会社です。金融サービスの業界においてはBT Unified Tradingソリューションに関して日立と重要なOEMパートナーシップを締結しており、トップの座を守っていると自負しています。BTグローバルサービスは、アジア太平洋、中東、アフリカにおけるビジネスの成長を加速するために投資を行っています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

BTは2012年ロンドンオリンピック・パラリンピックにおいて通信サービスのオフィシャルパートナーを務めました。また、英国およびその他の国々におけるメジャーなスポーツイベントにも携わってきました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

情報通信技術部門全般を担当するプレミアスポンサーを務め、大会に関するあらゆる電話、データ、画像、スポーツ報告の伝送を行いました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

音声、データ、画像などの伝送通信サービスを担当する主要な情報通信技術企業の1つとして参加しました。

C&JA Associates Limited

59, Harrow View, Harrow,
Middlesex HA1 1RF

Chris Allison CBE
Director
+44 77 6892 5316
Chris.j.allison@outlook.com

Chris Allisonはメジャーイベントのセキュリティや、指揮統制、危機管理の専門的なコンサルティングサービスを提供しています。クリスは、30年間ロンドン警視庁の警察官を務め、警視監まで上り詰めました。治安とメジャーイベントの警備を専門とし、ロンドン警視庁のあらゆる治安維持と特殊部隊を担当する中央活動部を統括していました。ロンドンの全てのメジャーイベントで警備を指揮し、2005年7月7日に発生したロンドン同時爆破事件ではゴールドコマンド（戦略担当指揮官）を務め、また2012年のロンドンオリンピックでは国内オリンピック・セキュリティ・コーディネーターを務めました。現在では会社組織を設立し、ツール・ド・ヨークシャーや2015年ラグビーW杯の大会組織委員会など、官民両部門の幅広い顧客に対応しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

- サッカーやクリケットなど、ロンドンで開催されたメジャースポーツイベントの警備
- 2012年ロンドンオリンピック、パラリンピック大会
- 2014年ツール・ド・ヨークシャー
- 2015年ラグビーW杯イングランド大会
- ウェンブリースタジアム開催試合でサッカー協会とコンサルティング提携
- ロンドンスタジアム(元オリンピックスタジアム)開催のサッカー試合のコンサルティング

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドン大会において、クリスは国内オリンピック・セキュリティ・コーディネーターを務めました。英国の上級警察官としてオリンピックに関わり、2012年ロンドンオリンピックを安全に運営するため、国内の警備に関して計画策定から実施までを指揮しました。安心・安全な大会運営に向けて、ロンドンオリンピック組織委員会(LOCOC)や英国中央政府など幅広い関係団体と密接に協働しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

ロンドン警視庁退職後、2015年ラグビーW杯の組織委員会、England 2015(ER2015)の戦略セキュリティアドバイザーに就任しました。ER2015にリスクと脅威に関する助言および指導を提供し、また、大会が確実に安心かつ安全に実施されるような警備対策の策定を支援しました。いつでも必要な支援を講じられるように、ロンドン警視庁および中央政府と緊密に連携しました。



日本のビジネス・パートナー、販売代理店
セルハイヤー ジャパン 有限会社
〒100-0011
東京都千代田区内幸町 1-1-1
帝国ホテルタワー 15F
03 3507 5717
jpevents@cellhire.com

Cellhire plc

Cellhire plc Park House, Clifton Park,
Yorkshire YO30 5PB, UK

www.cellhire.info

Mr. Martyn Stevens
Director-International Business Development
+44 19 0461 0610
martynstevens@cellhire.com

1987年設立のセルハイヤーは世界中で革新的で競争力のある音声、データのソリューションをお客様やパートナー様に提供している移動体通信における世界的なリーダー企業です。

セルハイヤーはオリンピック大会、FIFAワールドカップ、UEFA欧州選手権、カンヌ映画祭のようなイベントの主催者や企業にとってのリーディングサプライヤーです。セルハイヤーはリオオリンピックで22,000回線を供給し、2016年に新記録を樹立いたしました。

2005年には世界中でのイベントでの通信配信における成功の結果として英国女王賞を頂きました。ネットプロモータースコア:65という業界でも高水準なスコアを獲得し、国際的品質基準であるISO 9001:2008を継続して獲得していることから明らかに、最高水準の顧客サービス提供をお約束します。

セルハイヤーはグローバル・カバレッジを確実に確保すべく40カ国以上、100社を超えるネットワークパートナーとのサービス契約を結んでおります。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2016年のリオオリンピック、パラリンピックの開催期間中に各22,000回線及び4000回線のモバイル通信のご利用があり、新記録を樹立いたしました。

主要なネットワークであるClaroとOiと提携することで15のオリンピック委員会に移動体通信の端末を提供いたしました。セルハイヤーは主要なグローバルメディア協会、オリンピック・パラリンピック委員会、スポンサー、イベントの参加チーム、観客向けにSIMカード、スマートフォン、MIF端末(携帯、ワイヤレスルーター)とその他付加価値のある通信サービスを提供いたしました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年のロンドンオリンピックではO2/BTと提携し、オリンピック、パラリンピックを通じ、22,500の法人顧客へ移動体通信を提供いたしました。

オリンピック、パラリンピックの選手団、グローバルメディア企業、主要なオリンピックスポンサー及び企業団体などの得先を全面的な成功に導くことができました。

セルハイヤーは24/7の顧客サービスと技術的サポートにより、御客様により広範な音声、データサービスの料金表を提供いたしました。

イベント後、O2よりオリンピック大会で特別に革新的なサービスを提供したとして賞賛されました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

2015年のラグビーワールドカップではEE、Vodafone、O2のようなネットワークと提携し、大会期間中に移動体通信を提供しました。

チーム間で確実に繋がる音声、データ用SIMカード、スマートフォン、USBモデム、Wifi端末が主な製品でした。

ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカで開催された過去のラグビーワールドカップでの成功に続き、セルハイヤーは多くのチームや主要スポンサー、メディア企業との親密な関係を築くことができました。

Chanzo

Chanzo

G 0.6 Kirby Street TOG,
31/35 Kirby Street,
London EC1N 8TE, UK
www.chanzo.co.uk

Jean Tomlin /Chief Executive Officer (CEO)
Mobile:+44 7825 094041(Jean Tomlin)
Jean.Tomlin@chanzo.co.uk
Rob Clarke/Chief Operations Officer (COO)
Mobile +44 7889 787701 (Rob Clarke)
Rob.clarke@chanzo.co.uk
Office: +44 20 7186 9712

Chanzoは、国際的なメジャーイベント主催者に対し、人件費の最適化と有効活用を提案し、組織の全員がクライアント団体のために輝かしい成果を出せる環境を創出します。専門分野は、以下の通りです。

- 助言-採用、人事(コミュニケーション、組織設計、知識管理)、ボランティア(採用、研修、認定、ユニフォーム)、要員(要員計画、要員運用、転職・異動支援、請負業者管理)の全分野に関するコンサルタント・サービス
- 実施-上記に記載したボランティア・プログラム、組織委員会などを含む全分野に関する運用プログラムの実施
- 採用-数多くの大会実績をもつ国際的なメジャーイベントの専門家の、市場トップのネットワークを持っています。

ジーン・トムリンOBE(大英帝国四等勳士)、ロブ・クラーク、ニコラ・スウィーニーと当社社員のコアチームは、2012年ロンドンオリンピック、2014年コモンウェルスゲームズ(グラスゴー)、2015年ヨーロッパ競技大会(バクー)、2015年ラグビーワールドカップ(イングランド)をはじめ、メジャーイベントの実績があります。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

現行クライアント:

2020年万国博覧会(エクスポ)

• 2020年エクスポを支えるボランティア・プログラムの策定および実施

2017年第5回アジアインドア・マーシャルアーツゲームズ(AIMAG-アシガバート)

• 世界各国の経験豊富な人材の迅速動員 … 最高執行責任者(COO)、ディレクター、部門トップおよびマネージャーなど30部門に携わる250名、現地スタッフ400名、ボランティア8,000名を動員します。

完了プロジェクト:

2015年第1回ヨーロッパ競技大会(バクー)

(1) 迅速な動員(100日でスタッフ100名) … 43カ国からなる、延べ1,000以上のメジャーイベントに携わった実績のあるスタッフ454名を、60を超える部門に配置しました。(2) 定着率97% (3) 経験豊かな世界各国出身のリーダー … 250以上のメジャーイベントに長年に渡って携わった実績のあるディレクター・チームの採用をしました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

実施内容:

- 平時としては英国史上最大規模の要員を動員 … 20万人以上
- 有給スタッフ … (1) スタッフ 8,500人以上 (2) 応募者 20万人以上
- ボランティア … (1) 「ゲームズ・メーカー」と呼ばれ、世界的に有名になったボランティア・プログラム (2) 24万人以上の応募者から7万人のゲームズ・メーカーを選出 (3) 延べ100万日以上の研修 (4) ボランティア定着率95%
- 請負業者 … 延べ12万5,000以上の請負業者を認定・動員しました。
- 史上最も多様性と包括性に富んだメジャーイベント
- 50万の適格認定の作業
- メジャーイベントの要員管理に関する国際基準を定義し直したとして広く評価

**CREATIVE
TECHNOLOGY**

NEP Live Events

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
NEP Broadcast Japan

Creative Technology

Units 2-4 Manor Gate, Manor Royal,
Crawley, West Sussex RH10 9SX UK

www.ct-group.com

Stephen Purkess
Business Development Manager - Sport
+44 12 9358 2000
spurkess@ctlondon.com

生中継用オーディオ・ビジュアル技術サービスの世界トップ企業であるCreative Technology (CT)は国際イベント市場向けにイノベーションとテクノロジー、プロジェクトマネジメント、運用支援を提供します。法人向け、エキジビション、エンタテインメント、スポーツの各業界で活躍する弊社は、顧客の期待を超えることを各プロジェクトにおける目標とし、規模の大小にかかわらず、各種イベントにインパクトとダイナミズムを付加するクリエイティブな技術ソリューションを一貫して提供しています。

CTのサービスを形作るのには、卓越した最高のテクノロジーと並んで業界随一の人材や刺激的なアイデアへの投資です。これが、弊社と競合企業との違いを生み出します。

1986年の創業以来、Creative Technologyは進化を続けながら、米国、英国、欧州、中東、アジア環太平洋の各地域に拠点を持ち、最高品質の技術ソリューションを全世界に提供しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

CTが直接的、間接的に技術サービスを提供したイベントは、2012年ロンドンオリンピック、2014年コモンウェルスゲームズ、2015年ヨーロッパ競技大会(バクー)、2015年ラグビーワールドカップです。

定期開催でサービスを提供しているイベントは、ヨーロッパツアーゴルフ、プリティッシュアスレックス、ウィンブルドン、ATPワールドツアーファイナルなどです。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ロンドン大会の顧客であるパナソニックに対して映像サービスの実施と管理を担当。大会組織委員会との契約により音声サービスの提供・管理も実施。

さらに、オリンピック、パラリンピックの開閉会式の映像サービスの提供・管理を担当。

LEDスクリーン、プロジェクション、プロダクションシステム、カメラ、メディアプレイバック、PAシステム、音声管理システムを供給。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

2015年ラグビーW杯では、13スタジアム各会場でユニークなスタジアム内エンタテインメント向けシステムを提供。弊社OEMデータ管理システム「Mercury」を使用し、試合のスコアやデータのプレゼンテーション、VT再生、3Dグラフィックスをはじめとするラグビー専用のプレゼンテーションシステムを構築。これにはすべて「Ventuz」という1つのチャンネルを使用。このチャンネルに、「Mercury」が処理、スケジュール管理するライブのダイナミックデータを供給しました。

Designwerk

41 Corsham Street,
London N1 6DR, UK

www.designwerk.co.uk

Richard Markell
Marketing Consultant
+44 20 3865 3414
rmarkell@designwerk.co.uk**Designwerk**

Designwerkは世界的なスポーツにおける大手スポーツ組織のブランドコミュニケーションとファンエンゲージメントを主導する世界トップ企業です。

あらゆる媒体でのブランドアイデンティティ、イベントブランディング、出版物、マーケティング資料、展示スペース、デジタルセールス&ブランド資産管理ツールといった多様なプロジェクトをプロデュースしています。

取引先リストの中には、UEFA、プレミアリーグ、マンチェスター・ユナイテッドFC、アメリカズカップ、サッカーレックス、ITF、ヨーロッパ競技大会(バクー)、インフロント・スポーツ・アンド・メディア、TEAMマーケティング、全英ゴルフ協会、マンチェスター・シティFC、UEFAチャンピオンズリーグなどが名を連ねています。

過去4年間で取引先との関連でクリエイティブティとマーケティングに関する国際的な賞を50以上受賞しました。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

Designwerkは2015年ヨーロッパ競技大会(バクー)において4カ所のメイン会場でブランドを盛り上げ、現地の組織委員会と現地および国際的なサプライヤーに直接対応しながら、ブランドアイデンティティの確立を担当しました。また、ベルリンとグラスゴーで行われることになっている初開催の2018年欧州選手権のために、全メディアに向けた全く新しいブランドアイデンティティを創る業務も委託されました。

Designwerkは、ベルリン、ミラノ、リスボンで行われた過去3回のUEFAチャンピオンズリーグ決勝戦のブランドアイデンティティを創造し、あらゆる印刷・デジタルプラットフォームにおいてこれらの地域でアイデンティティを確立しています。

QBEイングランド国際ラグビーシリーズ(QBEはラグビーイングランド代表のスポンサー)のブランドアイデンティティを創造しました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドン大会では直接組織委員会(LOCOCG)との提携はありませんでしたが、この大会に関連するブランドのマーケティング資料を作成しました。



Dunlop Goodrich Ltd

Zetland House, 5-25 Scrutton St,
London EC2A 4HJ, UK

www.dunloggoodrich.com

Natasha Aksenova
Business development, director
+44 20 7148 4777
natasha@dunloggoodrich.com

当社は、スポーツブランド向けの革新的なクリエイティブエージェンシーです。Dunlop Goodrichは、スポーツ界において知名度の高いブランドに向けて、魅力的な創造性とアイデアでブランディング、グラフィックデザイン、宣伝、ソーシャル、コンテンツ、戦略、活性化などにおいて成果をあげるのに役立つ最高品質の仕事を提供します。取引先には、プレミアリーグ、チェルシーFC、リヴァプールFC、トッテナムFC、RFU(ラグビー・フットボール・ユニオン)、アディダス、コカ・コーラ、BT Sportなどが挙げられます。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

当社の設立者の一人であるダリル・グッドリッチは映像による2012年ロンドンオリンピックの成功に続き、ソチの2014年冬季オリンピックの開催権の獲得や、2022年FIFAワールドカップカタール大会の決定に寄与しました。また当社は2018年のサッカーヨーロッパチャンピオンシップに関わっており、現在のところ放送パッケージを市場に出すアイデアや、会場設計・ブランディング、プロジェクト全体のコンサルタント業務を行っています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

当社は、2012年ロンドンオリンピック招致のためのプロモーションビデオ2本の監督を務めました。スティーブン・スピルバーグ(ニューヨーク)やリョック・ベッソン(パリ)を押しよせ、ロンドン市長の言葉を借りれば「ロンドンにオリンピックを勝ち取らせました。」「インスピレーション」「スポーツ・アット・ハート」というタイトルの映像は30以上の賞を獲得し、オブザーバーはダリルをロンドンでのオリンピック開催決定に貢献するのに最も影響力のあった10人のうちの1人に挙げました。

<http://darylgoodrich.com/about/>
<http://darylgoodrich.com/brandfilms/inspiration/>
<http://darylgoodrich.com/brandfilms/sportatheart/>

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

2015年ラグビーワールドカップに向け、ラグビー・フットボール・ユニオン(RFU)により公式発表イベントの映像制作を委託されました。その映像はデービット・キャメロンやヘンリー王子を含む400名のゲストの前で上映されました。俳優のアレックス・ラニベケンにライブラリーに起用し、ピアニストのトキオ・マイヤーズによるドラマチックな伴奏を合わせるよう、脚本執筆・制作されました。限られたイングランドのフィルム映像と選りすぐりのスチール写真を使用し、イングランドラグビーのレガシーの7本の柱を強調しワールドカップを宣言しました。大会終了後、RFUのウェブサイト向けにビデオを手直しし夜の場面を盛り込みました。

<http://www.dunloggoodrich.com/portfolio/rfu-events-film/>



EFM Management Ltd

Unit 3 Alpha Way, Thorpe Industrial Park,
Egham, Surrey TW20 8RZ, UK

www.efm.global

Lisa Ryan
Director
+44 17 8422 3960
Lisa.ryan@efm.global

EFMはロジスティクス・貨物輸送の専門会社で、世界中のスポーツ、イベント、エンターテインメント業界に最高品質のサービスを提供しています。ヨーロッパ、アメリカ、中東、オーストラリアに事業所があり、世界各地を結ぶ国際的なネットワークを使い、長年、時間的制約がある業務や、貴重な機器類の配送業務を陸・海・空の輸送手段を使って行ってきました。EFMのスタッフは最初の計画段階から最終的なイベント配送にまで携わっています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2000年以降のオリンピック・パラリンピック(リオ、ソチ、ロンドン、バンクーバー、北京、トリノ、アテネ、ソルトレイクシティ、シドニー) 2003年、2007年、2011年、2015年ラグビーW杯 2002年、2006年、2010年、2014年コモンウェルスゲームズ 2002年、2006年、2010年、2014年サッカーW杯 アジア、ヨーロッパ、パンアメリカン、パンアラブ競技大会(アゼルバイジャン、中国、カタール、韓国、カナダ、メキシコ)

取引先には、パナソニック、コカ・コーラ、ゲッティイメージズ、英国オリンピック委員会、英国パラリンピック委員会、BBC、ITV、TVNZ、TV Globo、Globecast、BSE、Prestegigne、RPMC、アディダスなどが挙げられます。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

オリンピックファミリー(ゲッティイメージズ、セレモニープロデューサー会社、BBC、パナソニック、コカ・コーラなど)、大会スポンサー&サプライヤーのための、大会に向けたロジスティクス(貨物輸送(陸・海・空)、チャーター機、地上交通、通関手続き)。

過去17年間の主要な国際スポーツイベントのほとんど、並びに2000年のシドニー大会以降の夏季・冬季の全オリンピックに上記のサービスを提供することを専門に行っています。ロンドンオリンピック・パラリンピック組織委員会(LOCOG)が最初にオリンピック招致に名乗りを上げて以来、UPSとスポンサー契約を締結するまでの間、LOCOGの物流サプライヤーも務めてきました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

イングランド、オーストラリア、オールブラックスなどのラグビーチームの他、放送・報道・物資供給会社を対象とした、ラグビーW杯に向けたロジスティクス(貨物輸送、交通機関、通関手続き)。過去12年以上にわたって、これまで4つのラグビーW杯とワールドラグビーセvensシリーズに携わっていることから、国際的なラグビー界のほとんど、並びにスポンサーやサプライヤー、セレモニープロデューサー会社にも上記のサービスを提供することを専門に行っています。

2000年からラグビーイングランド代表、2001年からブリティッシュ・アンド・アイリッシュ・ライオンズ、2001年からスコットランド代表、2004年からオールブラックスおよびラグビーオーストラリア代表と提携しています。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
ゴンドランド ジャパン株式会社
〒541-0046
大阪市中央区平野町 4-5-6
ルアンジュ 淀屋橋 601
06 6232 0002
hiro@gondrand.co.jp



日本のビジネス・パートナー、販売代理店
株式会社イーエスエスジャパン
 〒107-0062
 東京都港区南青山 2-9-3 山口ビル 1F
 03.5414.8021
 miyoko@essj.co.jp

ES Global Ltd

Unit G East, Coate House, 1-3
 Coate Street,
 London E2 9AG, UK
 www.esglobalsolutions.com

Jeff Burke
 Director
 +44 20 7055 7200
 jeffb@esglobalsolutions.com

ES Globalは、仮設構造物、イベントオーバーレイ、大型ステージを専門とし、この分野でのプロジェクトマネージメントのエキスパートでもあります。スポーツ、企業、音楽、ホスピタリティ等のイベントに革新的でクリエイティブな解決策を提案致します。

持続可能性は、弊社の経営手法の基本理念です。

製作、納品、設営、撤去、再利用の一貫した過程において、私たちの計画がインパクトあるものとして評価していただける事をお約束いたします。

仮設のスポーツ会場を設営する場合でも、式典のステージの場合でも

;ES Globalはクライアント様のビジョンを実現致します。私たちはチャレンジをポジティブに受け取り、どんなビジョンも実現可能だと考えています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

- 2016 リオ 組織委員会
- 2022 カタール最高委員会
- 2014 グラスゴー コモンウェルスゲームズ
- 2014 ソチ 式典エージェンシー
- 2012 ロンドン 組織委員会
- 2012 ロンドン オリンピック 会場建設委員会
- 2010 ドーハ コモンウェルスゲームズ 組織委員会
- 2000年 シドニー 組織委員会
- ダウ
- BスカイB
- キャドバリー
- ザハ ハディッド

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

- メインスタジアム レガシー&将来の仕様に関するコンサルタント業務 - LDA
- メインスタジアム 式典のためのコンサルタント業務 - LOCOG
- アクアティクスセンターの仮設コンサルタント業務 - Zaha Hadid
- バスケットボール会場、ステージ設計コンサルタント業務 - ODA
- ホース ガード パレードのステージ設計コンサルタント業務
- 水球会場の設計及び納入 - ODA
- 射的会場の設計及び納入 - ODA/Sisk
- ホース ガード パレードのテストイベント用デッキ - LOCOG
- パークアンドライドの設計と納入 - ODA
- テストイベント用の足場及びサポート構造物 - LOCOG
- ダウ ケミカル 設計及び設営
- キャドバリー 設計及び設営
- Sky TV Studios 設計及び設営
- アイコン 設計及び設営



日本のビジネス・パートナー、販売代理店
新日本有限責任監査法人
EY 税理士法人
EY トランザクション・アドバイザリー・サービス (株)
EY アドバイザリー・アンド・コンサルティング (株)
EY 新日本サステナビリティ (株)
EY 新日本クリエーション (株)
EY リアルエステートアドバイザーズ(株)
EY 弁護士法人
EY ソリューションズ (株)
EY 総合研究所 (株)
EY ビジネスイニシアティブ (株)
EY フィナンシャル・サービス・アドバイザリー (株)
新日本パブリック・アフェアーズ (株)
EY ジャパン合同会社

EY Japan

〒100-0011
 東京都千代田区内幸町二丁目 2 番 3 号
 日比谷国際ビル
 www.eyjapan.jp

松村 直季
 スポーツ事業支援オフィス
 オフィスリーダー / シニアパートナー
 03-3503-1701
 Naoki.Matsumura@jp.ey.com

EY Japanは、EY (アーンスト・アンド・ヤング) の日本におけるメンバーファームの総称です。各法人は、独立した法人として相互に連携しながら、サービスを提供しています。アシュアランス、アドバイザリー、税務およびトランザクションにおける豊富な業務経験を有するプロフェッショナル・チームが連携して、企業が抱えるさまざまな課題に対し、最先端かつグローバルな視点から最適なサービスを提供します。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

オリンピック・パラリンピック

ロサンゼルス大会、ソウル大会、バルセロナ大会、リレハンメル大会、アトランタ大会、シドニー大会 (招致)、ソルトレイクシティ大会、バンクーバー大会、ロンドン大会、ソチ大会、リオデジャネイロ大会、ピョンチャン大会、東京大会

FIFAワールドカップ

日韓大会、ドイツ大会、南アフリカ大会、ブラジル大会

ラグビーワールドカップ

オーストラリア大会、イギリス大会、日本大会

コモンウェルスゲーム

マンチェスター大会、メルボルン 大会、デリー大会、グラスゴー大会、ゴールドコースト大会 (招致)

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

オリンピック会場建設委員会(ODA)に対する業務提供

- 内部監査
- プログラムアシュアランス業務 (ビジネス、IT、戦略に関するアシュアランスを含む)
- アドバイザリーサービス (調達、建設、運搬、戦略に関するサポート)
- ビジネスプラン策定支援
- 予算策定支援
- 建設会社の財務モデルレビュー

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

ラグビーフットボール協会(RFU)に対する業務提供

- 経済効果分析



FLUX Creative Consultancy

Candid Studios 3 Torrens St,
London EC1V 1NQ, UK

www.fluxevents.com

John Farquhar-Smith
Producer

+44 20 7837 0999 +44 797 3548 2452

john@fluxevents.com

規模が大きく、複合型で複数のステークホルダーが関わるため、時に厳しい状況になりがちなイベントにおいて、プロデューサー、共同制作者、コンサルタントを務めています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2010年オマーンナショナルデーをプロデュース
オマーン国王のために12,500人の子供が参加したマスケーム。
このプロジェクト全体の企画・監督・実行を担いました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2008年北京オリンピックにおいて2012年ロンドンへの引き継ぎ式をプロデュース
中国でのオリンピック大会の閉会式に大きな赤いロンドンバスを走らせ、レオナル・ルイス、ジミー・ペイジ、デビッド・ベッカムを登場させました。

2012年聖火リレーのイブニングセレブレーションのショーをプロデュース

日替わり・リハーサルなしで2時間の内容のイブニングセレブレーションのショー(最後は2012年ロンドンオリンピック聖火の到着と各地の「聖火台」への点火で終わる)を69日分プロデュースしました。

2012年サブライヤー承認スキームの一部として承認・認可を受けました。



FOAMHAND Limited

14th Floor Imperial House
15 Kingsway
London WC2B 6UN, UK
www.foamhand.com

Paul Foster
Chief Operating Officer
+44 78 9999 2636
paul@foamhand.com

FOAMHAND®は都市運営・移動管理を専門とするコンサルタント会社です。国際的なコンサルタントとイベントマネージャーで構成される当社の経験豊富なチームには資格を持つ博識な業界の専門家が揃っており、過去10年間で20以上のメジャーイベントで培ったスキルを有しています。サービスは大きく分けて次の4つの分野に該当します。

1.都市運営・イベント企画 2.指揮・調整・通信(C3) 3.需要分析・移動管理 4.運用準備

FOAMHAND®はイベントの全ライフサイクルを通じて経験とサービスで他にはないレベルの責任を果たすことができます。入札>企画>準備>実施>レガシー

グローバルスポーツイベントにおける実績:

クライアントの例:2014年ソチオリンピック、2014年コモンウェルスゲームズ・グラスゴー大会、2014年サッカーW杯ブラジル大会、2015年ヨーロッパ競技大会(バクー)、2015年クリケットW杯、第50回スーパーボウル、2016年リオデジャネイロオリンピック、2017年世界陸上競技選手権大会、2017年アメリカスカップ、2018年コモンウェルスゲームズ・ゴールドコースト大会、東京都庁(2020年東京オリンピック)

2018年コモンウェルスゲームズ・ゴールドコースト大会… FOAMHANDは市・州政府の代理人としてコモンウェルスゲームズ大会の重要な輸送・群衆管理に関する計画策定を行っています。最近では、主催者、州・市政府が共同で出資したプロジェクトにおける輸送機能エリア準備に関するレビューを行って、準備態勢を整え、実施に向けて推奨プログラムを提示しました。

第50回スーパーボウル… FOAMHANDはイベント企画・実施チームの一員としてサンフランシスコ市議会に代わってシティセンター・ファンゾーンの開発・管理を実施しました。群衆管理のスペシャリストとして受託したFOAMHANDは第50回という記念の年を祝うため、スーパーボウルシティの安全な運営のために群衆管理計画を策定しました。当社の主な役割は、会場と周辺公共交通施設の業務統合を可能にして、通常業務を行っているビジネスに与える影響を最小限に抑えることでした。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドン大会においては、FOAMHANDの全チームが上級管理者の役職にありました。都市運営… ポール・フォスターはオリンピックパークの大会全体の単一かつ最大の群衆管理業務に関する計画策定および運用実施を監督、そして外部群衆管理業務を管理しました。1日に250,000人の観客と一般群衆、大会期間全体で1,000万人以上の移動がありました。

C3… アダム・ダウンはロンドン交通局の代理人として2012年ロンドン大会において交通調整センターの運用構想(ConOps)を策定した人物です。2011年にアダムはLOCOGへ異動し、オリンピックパーク、ロードイベントおよびセレモニーのためにC3チームを指揮し、大会期間中、オリンピックパーク運営センターのマネージャーおよびパーク会場責任者であるゼネラルマネージャーを務めました。

移動管理… カラム・ニコルソンは2012年の競技会場の大多数における観客移動の計画、設計、実施に3年間従事しました。具体的には、観客の入退場の概略予測、群衆の移動分析、モデル化プロジェクトなどを行いました。また、リアルタイムの観客モニタリング・データ収集システムの実施を指揮し、観客の実際の行動および人物像について貴重な洞察を提供しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

FOAMHANDは2015年ラグビーW杯イングランド大会およびリッチモンド区議会から委託を受けて、ラグビーW杯開催期間中、リッチモンド・タウンセンター内外やリッチモンド・ファンゾーンに向けて運営の計画策定および管理を行い、1日に約50,000人の移動を監督しました。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社 日本総合研究所



G4S Risk Consulting Ltd

Southside, 105 Victoria Street,
London, SW1E 6QT, UK

www.g4sriskconsulting.com

Alison Burrell
Head of International Sales&Marketing
+44 78 1063 7206
Alison.burrell@g4s.com

15年以上に渡り、弊社のコンサルタントは国際的な組織、大会運営本部、スポーツチームを支援し、各種イベントの成功と安全な運営に貢献してきました。世界最大のセキュリティ企業として、地元のリソースを十二分に活用しながら実績を積み、世界各地のメジャーイベントでリスクの軽減および管理を実施しています。

弊社の基幹サービスは以下の通りです。

(1) インテリジェンス顧問サービス: 状況の認識やリスクの監視から予測、シナリオモデリング、セキュリティ政策「ゲーミング」など (2) セキュリティ分野のリスクコンサルティング: セキュリティソリューションの設計、リスク評価、防御研究、無人空間の管理から、スタジアムにおける爆風による衝撃測量モデリング、混雑した場所のセキュリティ戦略など (3) トレーニング&能力開発: トレーニングの必要性の特定や、公的・民間セキュリティ担当者の能力向上を図るプログラムの開発および管理 (4) コンプライアンス&調査: プロジェクトのパートナーおよび業者の商業的なデューデリジェンス (適正評価) (5) 渡航リスク管理: 渡航セキュリティにかかわる情報、技術および国内支援の提供

グローバルスポーツイベントにおける実績:

G4Sは30年以上にわたり代表的なスポーツイベントのセキュリティに携わってきました。

(1) 2012年ロンドンオリンピック (2) 2015年ラグビーワールドカップ (3) ICCクリケットワールドカップ (4) 2015年 ユーロ (5) ウィンブルドンテニス (6) 英国、ドバイ、バーレーン、グランドプリ (7) ライダーカップ
2017年現在、ブダペストの2024年オリンピック招致委員会、および、2022年FIFAワールドカップカタール大会のデリバリー&レガシー最高委員会と一緒に仕事をしています。

ケーススタディ: 2009年以来、ICC (国際クリケット評議会) はG4Sグローバル・インテリジェンス・システムと専用リスク評価を利用しています。この評価で、ICCは各大会に最適なセキュリティ要件に関して情報に基づいた決断を下せるようになりました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2007年、G4Sは2012年ロンドンオリンピックの単独セキュリティ業者に指名されました。契約内容は以下のとおりです。

(1) 大会8年前から開始するセキュリティコンサルティングプロジェクトの実施 (2) 内部・外部の脅威からの工事中の会場の保護 (3) セキュリティマスタープランニングの支援 (4) 脅威分析、リスク分析、ソリューション設計の実施 (5) 全会場にわたる指揮統制の構築 (6) 確固たる事故管理計画の構築 (7) トレーニング&能力開発の実施 (8) 125カ所以上の会場に配置するさまざまなセキュリティスタッフの雇用、審査、認定、編成、スケジュール管理 (9) ストレステストの計画とプロセスを試すためのテストイベントを実施

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

G4Sリスクコンサルティングが担当したセキュリティコンサルタントの業務内容は以下の通りです。

(1) セキュリティマスタープランニングおよび基本的なトーナメントセキュリティポリシーの開発を支援 (2) 一貫性のある均一なアプローチを提供するためのコンパラティブ・リスク・アセスメント・モデル(CRAM)などのツールを開発。このツールで全会場共通のリスク評価とセキュリティ設計を実現 (3) 13カ所の競技会場のリスク評価とセキュリティ計画を実施 (4) ホテル、アウトドアトレーニング場所、インドアトレーニング施設など、41カ所のチーム拠点の警備と脆弱性を診断するセキュリティ&脆弱性評価(SVA) (5) 「ラストマイル」や「ライブ会場」の計画を含む標準作業手順(SOP)およびセキュリティ・プランの構築を支援

日本のビジネス・パートナー、販売代理店

G4S Secure Solutions Japan

〒197-0011

東京都福生市 福生 2299-4

武蔵野ビルズ 202

042-519-9303

info@jp-g4s.com

Gensler

33 Aldgate High Street, Aldgate House,
London, EC3N 1AH

www.gensler.com

Ale Zoppini
Sports Practice Area Leader, EMEA
+44 20 7073 9600
Ale_zoppini@gensler.com



Genslerは、アジア、ヨーロッパ、オーストラリア、中東、南北アメリカに46カ所の事務所を持ち、5,000名以上の専門家を抱える世界的な建築、設計、プランニングファームです。1965年に設立され、現在あらゆる業界において3,500以上のクライアントを抱えています。Genslerのデザイナーたちは、人々が生活し、働き、遊ぶ場所をより刺激的で弾力的でインパクトの強い場所にするをを目指しています。Genslerは、初期の戦略・設計計画から実行やマネジメントまでデザインサイクルの全ての段階においてクライアントを支援するよう組織されています。私たちの提供するサービスには、建築、インテリアデザイン、プランニング、都市計画、マスタープラン、ブランドデザイン、職場コンサルティング、製品デザインなどが挙げられます。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

- 2006年トリノオリンピック パラスポーツ、オーバル・リングト: 8,500席。建築設計とインテリアデザインサービス。建設済み。
- 2018年平昌オリンピック 平昌スピードスケートオーバル: 建築設計サービス。コンセプトデザイン。
- 2014年ソチオリンピック (ロシア) ソチオーバル: 8,000席。建築設計サービス。コンセプトデザイン。
- 2020年ローマベロドローム: 5,000席。建築デザインとインテリアデザインサービス。コンセプトデザイン。
- カナダ BMOフィールドスタジアムの拡張: 30,000席。建築デザインとグラフィックデザインサービス。建設済み。
- 盛京インターナショナルパフォーマンスセンター: 75,000席。建築設計、FF&E (什器備品)、グラフィックデザイン、インテリアデザイン、看板とウェイファインディング (目的地までの案内)。コンセプトデザイン。
- アトランタ・ファルコンズ・スタジアム: 建築デザインサービス、コンセプトデザイン
- 日本 伊豆ベロドローム: 48,000平方メートル。建築デザイン、インテリアデザイン、グラフィックデザインサービス。建設済み。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

Studio Zoppini (アレザンドロ・ゾッピーニがGenslerに勤務する前の事務所)とBennetts Associatesは、2012年ロンドンオリンピックのアクアティクスセンターのデザインコンペに招待された4つのデザインチームのうちの1つでした。最終的にザハ・ハディッドのコンセプトがデザインとして採用されました。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店

Gensler 東京オフィス

〒107-0062

東京都港区南青山 2-11-16

METLIFE 青山ビル 2F

03 6863 5300

nachiko_yamamoto@gensler.com



Global Infusion Group

Nashleigh Hill Chsham,
Buckinghamshire HP5 3FE, UK

www.globalinfusiongroup.com

Nick Venables
Head of Global Sport & Events
+44 14 9479 0715
nick.venables@globalinfusiongroup.com

Global Infusion Group (GIG)は、30年以上にわたる実績を持つ、世界各地でケータリング、ホスピタリティ、ロジスティック、ブランドをサポートする企業です。ライブイベントをサポートするスペシャリストのGIGには、アジア、欧州、南北アメリカ、中東に事務所と施設、さらには提携企業や業者の広いネットワークがあります。GIGはコンサルティングやすぐに使えるデリバリーソリューションを提供する4部門から成り、包括的かつ詳細なプロジェクト分析と計画を提供します。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

Global Infusion Groupが担当した主な競技大会

1. 第15回アジア競技大会 (2006/ドーハ)
2. 第16回アジア競技大会 (2010/広州)
3. 第26回ユニバーシアード競技大会 (2011/深圳)
4. 第27回ユニバーシアード競技大会 (2013/カザン)
5. オリンピック放送機構 (ソチオリンピック2014)
6. 第1回ヨーロッパ競技大会 (2015/バク)

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2カ所で101,000食以上を提供。

1. オリンピック放送機構 (OBS)
放送局、メディア、OBS関係者、IOC委員向け
2. ロンドン大会組織委員会
オリンピック5会場の大会関係者、オリンピックファミリー向けに仮設キッチン39カ所を運営。
2,700人のスタッフが同時に勤務。



Harrod UK Ltd

1-3 Pinbush Road, Lowestoft,
Suffolk NR33 7NL, UK

www.harrod.uk.com

Kevin Utton
Director of Sales and Marketing
+44 15 0258 3515
kevin@harrod.uk.com

ゴール、ポスト、ネットを生産する英国随一のメーカーであり、世界中の大規模な大会や競技会場へ製品を供給しています。弊社の研究設計部門はスポーツ用品製造分野でトップクラス。研究開発への投資で、持続的な成長を実現しています。お客様の問題解決がいかに大切であるかを熟知している弊社は、日々問題解決に取り組んでいます。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

Harrod UKはラグビー、サッカー、ホッケーをはじめとする数多くのメジャースポーツイベントで用具を供給しています。最近では2016年リオデジャネイロオリンピックで、ホッケーの用具を提供しました。中でも、FIH公認ホッケー用加重式ゴールの高級モデルは、リオ大会とオリンピックのブランディングのために特別な色が使われた特注品でした。Harrod UKは、2015年AFCアジアカップとFIFA U-20ワールドカップにも、ハロッドUK 3Gスタジアムゴールなどの製品を供給しました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

Harrod UKは、2012年ロンドン大会の唯一のサプライヤーでした。

2012年ロンドン大会は、Harrod UKが市場の中心的コンセプトである高品質製品群を紹介する好機となりました。このコンセプトは現在、英国の業界が最も好むアルミ製フリースタンドゴールの製法として広く採用されています。

主な製品

- 2012年ロンドン一体型ホッケー用加重式ゴール HOC-151
- ホッケーピッチディバイダーパッド HOC-406
- ホッケーテクニカルシェルター SHE-150
- 高級固定型チームシェルター6m(ブルーベンチ付) SHE-066
- 3Gオリジナル一体型加重式ゴール3m×2m FBL-656
- パラリンピックサッカー用リバウンドボード FBL-255
- 3G加重式ユーロポーターゴール FBL-440

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

弊社は2015年および2011年ラグビーワールドカップのサプライヤーとして、世界中にHarrod UKブランドを紹介しました。同大会ではミレニアムラグビーポストなどが使用されました。

なお、ミレニアム17mヒンジ式ラグビーポストは、トゥイッケナムスタジアム、マレーフィールドスタジアム、アピバスタジアム、プリンシパリティスタジアム、ウェンブリースタジアム、エティハドスタジアム、静岡エコパスタジアム(ラグビーワールドカップ2019日本大会スタジアム)、フォーサイスバースタジアム、ロンドンスタジアムをはじめとする数多くの一流スタジアムで使用されています。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
コウフ・フィールド株式会社
〒812-0892
福岡県福岡市博多区東那珂 2-19-25
080 9245 1804
k.aramaki@kofu-field.com



Hesco Group

Unit 41 Knowsthorpe Way, Cross Green
Industrial Estate, Leeds,
West Yorkshire LS9 0SW, UK
www.hesco.com

Adam Wilding-Webb
High Security Product Director
+44 11 3248 6633
adam.wildingwebb@hesco.com

Hescoは、防壁、防潮壁、緊急展開システム、避難バンカー、防弾チョッキといった防衛、周辺保護、およびセキュリティシステムにおける世界的リーダーであり、イノベーターです。

Hescoとえば軍隊保護の代名詞として、必要な時に必要な場所で人命救助や資産や環境の保護に全力を尽くすことで業界では認知されています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ノースグリニッチ・パーク(O2アリーナ)とウェンブリー・スタジアムに安全防衛線となる、手軽に配置できる仮設の表面実装型爆破・突入車両防護壁を提供。実戦で実証済みの土を充填するタイプのユニットなので現地で調達した素材が充填可能なほか、設置は最小限の人員ででき、一般的に入手可能な設備を使用して爆破・破片を軽減することができます。

ロンドンオリンピックとパラリンピックのセーリング選手村にはアクセス制御区域と安全防衛線となる、よじ登り防止金具を取り付けたHESCOの再設置可能な地面設置型HVM安全フェンスを設置。大会中、主要な駐車会場となったエブスリートでは、行列用の柵としてHESCO防衛柵も設置されました。



ICON / CSM Live

62 Buckingham Gate,
London, SW1E 6 AJ
www.csmlive.com

Giles Stanford
Director Global Events
+44 77 6871 4900
giles.stanford@csmlive.com

ICON/CSM Liveには、イベントブランディング戦略を策定し、アリーナやスタジアム、そして開催都市の隅々まで、その計画を実行するスキルがあります。記憶に残る思い出、観客が我を忘れるような体験、優れた運用、持続可能なソリューションを生み出します。(1)戦略的計画作成 (2) 全会場でのブランディングおよびインパクトの強いグラフィック (3) 国際的なサプライチェーンおよび後方支援 (4) ウェイファインディング(案内/誘導)および標識 (5) 観客体験 (6) ライブ会場および開催都市中心部の活性化 (7) 開催都市におけるシティードレッシングおよび案内標識 (8) ライブおよび経験価値マーケティング (9) オーダーメイドの3Dビルド (10) 外観イメージ、ウェイファインディング(案内/誘導)、標識に関する幅広いレンタル用在庫

グローバルスポーツイベントにおける実績:

オリンピック: 2012年ロンドン大会、2014年ソチ大会、2016年リオ大会の一部 **サッカーW杯:** 2006年、2010年、2014年 FIFAと契約を締結して外観イメージ、装飾、標識を提供。 **ライダーカップ:** 2006年、2010年、2014年 **ヨーロッパ競技大会:** 2015年バクー大会 **モモンウェルズゲームズ:** 2014年グラスゴー大会 **UEFAチャンピオンズリーグ:** 過去12シーズンおよび決勝戦

弊社は開催都市と関連して、全会場のあらゆる外観イメージ、ウェイファインディング、標識を提供する主要受託業者です。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ICON/CSM Liveは2012年ロンドン大会における外観イメージ・雰囲気およびウェイファインディングに関するプログラムのあらゆる種類のブランディングを実施しました。世界的な舞台でこのようなイベントを実施するには複雑性、期待値、時間的制約が伴うことから、大きなイベントの実施に関して弊社が持つ膨大なブランディングの専門知識と経験が求められました。ロンドンの合計192のオリンピック試合、トレーニング、非競技会場を、1つの首尾一貫した視覚的イメージのもと、世界に向けて放送するのに最適な世界的ブランドを確立しました。LOCORGの戦略は、ブランドの品位を維持し、全アプリケーションにおける2012年ロンドンオリンピックのアイデンティティを保護することでした。そのため、弊社は指定受託業者として公式競技会場での業務の他に、英国全体における外観イメージおよびシティードレッシングに関する単独サプライヤーを務めました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

ICON/CSM Liveは全スタジアムおよび開催都市全体に及ぶ大会の外観イメージを決定・実施する職務を任せられました。具体的には、各会場のアートワーク印刷物の作成と併せて、全会場での全ブランド要素の制作および設置、さらには各会場の既存サプライヤーの綿密な管理です。(シティードレッシング、交通ハブ、ラストマイル・ウェイファインディング、スタジアムのコンコース・アプローチの装飾、すべての壮大なショー演出および3Dインスタレーション、試合ごとの変更・更新、地域調整、後方支援・倉庫管理・設置、トレーニングキャンプ、チーム用バス、売店) また、イベントのウェイファインディング・システムの全体的なイメージ、デザイン、戦略についても担当し、ラグビーユニオンの伝統であり、ラグビー発祥の地に戻ってきたということに着目し、すぐに識別できる目立つ看板標識を作成しました。このプログラムはワールドラグビー、放送関係者、さらには各チームといった、ラグビーW杯ファミリーから大いに賞賛されました。この成功があったことで、それ以降もRFUの委託を受けてトゥイックナム・スタジアムのブランディングおよび標識に関する要件を管理しています。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店

CSM Japan

Sam Pearson

〒123-0865

東京都足立区新田 3-35-32

090 4511 0561

Sam.pearson@csm.com



ID Resilience

29 Eagle Street, Craighall Business Park,
Glasgow, Scotland, UK, G4 9XA

www.idresilience.com

Ian McLeod Kerr
Managing Director
?0141 333 96565
mob: 07968592547
ian@idresilience.com

ID Resilienceはメジャーイベントの準備状況を試す試験および演習を実施しています。2014年コモンウェルスゲームズや2015年ラグビーW杯に携わった経験があることから、デスクトップ上およびライブでのプレイシナリオに基づくセッションを組み合わせ、人員、計画、連絡、上申プロセス、メディア対応、統制システムについて試験を行ったうえで、準備態勢プログラムの策定を行っています。計画策定とイベント実施に確実に活かされるように、試験結果による知見を企画チームに報告しています。このサービスの最終目的は、計画をストレス試験にかけて、イベント中もプレッシャーに耐えられるという確信を持たせ、迅速かつ効果的に偶発的な事故に対処できるようにすることであり、そうすることで、イベント、ブランド、開催都市を保護しながら、円滑かつ確実にイベントを実施できます。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2014年コモンウェルスゲームズ: 複数機関の準備態勢プログラムの設計および実施

2014年ライダーカップ: 準備態勢演習プログラムの設計および実施

2015年ラグビーW杯: 会場の準備態勢演習

UKスポーツ: ゴールドイベントシリーズに対する継続的支援

2015年世界体操競技選手権: 準備態勢演習

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

グラスゴーのハムデン・パーク内でのサッカー競技のCBRN対策計画に携わりました。サッカー競技に関する報告プログラムおよび日報管理。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

準備態勢演習の提供。2015年ラグビーW杯大会準備チームと連携して、ID Resilienceは会場でのイベント実施に関わる複数機関と幅広いステークホルダーの統合について試験を行うための会場演習を計画しました。イベントの円滑かつ確実な実施を目指して、演習セッションが計画と一体化したことで、イベント実施前に役割と責務の明確な理解を得ることができました。



JLT Specialty Limited

The St Botolph Building, 138 Houndsditch,
London EC3A 7AW, UK

www.jltgroup.com

赤羽 信行
Development of Executive
Head of Japanese Construction
+44 20 7528 4457
iNobuyuki_Akahane@jltgroup.com

JLTは世界最大規模の保険ブローカーの1つ。JLTネットワークを活用し、世界135カ国でサービスを提供。工事、エネルギー、スポーツイベント、航空等々、あらゆる産業、ビジネスを取り巻くリスクや保険に関するアドバイス、並びに保険手配サービスを提供。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

- **オリンピック**: ロンドン、アテネ、シドニー、バンクーバー、ソルトレイク、トリノ
- **ラグビーワールドカップ**: オーストラリア、フランス、ニュージーランド、イングランド、日本
- **FIFAワールドカップ**: 日本・韓国、南アフリカ、ブラジル、ロシア、カタール
- **ワールドマスターズ**: トロント、プリズベン、オークランド
- **F1**: 英国、米国、ブラジル、シンガポール

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2006年10月、JLTはオリンピック建設委員会 (ODA) から保険ブローカーとして指名された。そして、各種競技場の建設、インフラ工事を全てパッケージ化して保険手配を行なった。オリンピック開催後のレガシー (住居やショッピングセンターへの転換工事) に関しても、JLTが保険手配を行なった。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

JLTは、2015年イングランド大会に限らず、2003年オーストラリア大会から2019年の日本大会まで、5大会連続で、主催者であるWorld Rugbyから保険ブローカーとして指名され、各種保険の手配を行なった。(日本大会は今後手配。) また、2019年の日本大会に関しては、Rugby World Cup 2019 Organising Committeeからも保険アドバイザーとして指名を受けている。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店

JLT ジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 3-16-26

ハリファックスビル 4階

03 6730 3535

Kimio_Kameda@jltasia.com



Kromek Ltd (クロメック社)

NETPark, Thomas Wright Way,
Sedgefield, County Durham TS21 3FD UK

www.kromek.com

ジェームス ベネット
セールスエンジニア
+44 17 4062 6095
James.Bennett@Kromek.com

クロメック社はシリコンフォトマルチプライヤーとテルル化カドミウム亜鉛シンチレーターをベースにした放射線検知器やその他技術におけるリーディングカンパニーです。クロメック社はセキュリティ・原子力・医療分野向けの放射線検知器、X線・ガンマ線イメージング装置の設計、開発、生産を行っています。クロメック社の製品は対象物の組成・構成に関して高い分解能を持っています。これによって放射線物質の分析、爆薬など危険物質の認識、がん細胞と非がん細胞の識別など幅広い用途でお使い頂くことが可能です。クロメックグループは現在100人を超える社員でグローバルに活動しております。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

クロメックの放射線検知器D3Sは核テロ対策として米国のある都市へ10,000個配備されています。またDARPA (米国防総省)が数億ドルかけたプロジェクトにおいても採用実績があります。IAEAはスポーツイベントなどの公共イベントのセキュリティ目的でD3Sの配備に投資しています。放射線検知器D3Sのネットワークはイベントの警備スタッフが会場全体をカバーするよう配備が可能です。放射線物質が会場へ持ち込まれた場合、検知器が物質付近とネットワーク上で警告します。素早い検知と識別により、正しく迅速な処理が可能になります。

放射線検知器D3Sは放射性物質が持ち込まれたことを警備員に警告し、核種を知らせるスタンドアロンユニットとしても使用可能です。核種の情報を知ることで正しく対処することができます。D3Sはネットワークソリューションとしても使用可能ですので、専門知識のないスタッフが持ち運び、専門家がそのフィードバックを解析することもできます。この場合、ユーザートレーニングは不要です。またクロメックはメンテナンス、納入後サポートなど現場対応も致します。

クロメックのIdentifierはX線ベースの液体物検査装置です。装置は各国約50箇所の空港にて運用され、クロメック社は技術サポート、メンテナンス、修理をUKをベースとして各国の代理店を通じて行っています。Identifierは格納物の上限がなく、どんな対象物でも10秒でO×判定することが可能です。そのため、必要最小限のトレーニングのみで運用が可能です。



Legion Ltd

Hamilton House, Mabledon Place,
London WC1H 9BB, UK

www.legion.com

Eduardo Lazzarotto
Business Development Director
+44 20 7793 0200
sales@legion.com

Legionは、人がインフラとどのように接しているのかを理解することに着目したソフトウェア開発会社です。シミュレータ「Legion」を利用すると、ユーザは、旅行者や歩行者、サッカーの試合を観戦するファンと同じ場所に立ち、最終顧客に焦点をあてることができます。このソフトでは、以下のようなあらゆるタイプの公共施設で歩行者の動きを正確にシミュレートし、段階的に分析を行います。

- 鉄道や地下鉄の駅、バスターミナル
- 空港や港
- スポーツ施設、文化施設、レジャー施設
- 商業ビル、公共施設
- 代表的な国際大会(オリンピックなど)
- 市街地の通り(車両との相互の影響も含む)

Legionプロジェクトの最終的な目標は、人の流れと空間の利用効率を最適化することにあります。これは、公共施設関連のコストと収益だけでなく、顧客に対する安全性とサービスの質にも劇的な影響を与える目標なのです。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

Legionは、2000年シドニーオリンピックからオリンピックでは毎回使用されています。組織委員会や、マスタープランや運営、輸送計画、設計、観客誘導に携わるさまざまなコンサルタントも利用しています。ワールドカップ全大会とも密に連携をとり、Legionソフトはスポーツパーク、スタジアム、ファンゾーン、輸送拠点の設計でも利用され、安全で効率的、商業的にも魅力のある大会の実現を保証しています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

Legionは、群衆誘導のアドバイザーとしてオリンピック会場建設委員会(Olympic Delivery Authority)の業務に直接関わりました。さらには、マスタープランや運営、設計、警備責任者など多岐にわたるコンサルタントにもソフトを提供しました。大会を確実に成功させるためにロンドンの空港(主にガトウィック、ルートン、ヒースロー)、ロンドン交通局(ロンドン地下鉄、ロンドン交通局管轄の通り/バス)、ネットワーク・レール社、ロンドン市消防局、ロンドン警視庁、大会に関係する地域の市議会など外部の関係者とも提携しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

LegionユーザがRWC 2015の全スタジアム運営の設計・計画を実施しました。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
ユーデック株式会社
〒100-0004
東京都千代田区大手町 1-7-2
東京サンケイビル 27 階ウエスト
03 5217 5051
nagasawa@udec.co.jp



LEONARDO

8-10 Great George Street, SW1 AE1.

www.leonardocompany.com

Francesco Norante
Vice President
Strategic Marketing Major Sports Events &
Stadia, Security & Information Systems Division
+44 20 7340 6100
francesco.norante@leonardocompany.com

Leonardoは航空宇宙・防衛・セキュリティ分野でグローバルに活躍するハイテク企業です。イタリアを拠点とし、4万6,000人以上の従業員と五大陸に218のオフィスを有する同社は、4つの主要なマーケット(イタリア、英国、米国、ポーランド)のビジネス界で強い存在感を示し、将来性の高い世界各地の主要なマーケットを舞台に重要な戦略的提携ネットワークを構築しています。社内には7部門、社外には複数の子会社とジョイントベンチャーがあります。

情報技術やコミュニケーション、オートメーション、物理的および論理的セキュリティの相乗効果で、セキュリティや領域内の地上・空海域の交通管制、官民の重要インフラの保護対策、メジャーイベントの警備のための統合システムをはじめとするソリューション、テクノロジー、サービスを提供しています。

研究開発への年間投資は収益の約11%におよび、常にソリューションの革新を実現し続けています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

テクノロジーを駆使した安全分野で業界トップのLeonardoは、行政、警察、重要インフラ、都市の安全性、航空管制、交通、運輸の各方面でニーズにあったソリューションを提供しています。情報技術、確実なコミュニケーションネットワーク、指揮統制システム、物理的・論理的セキュリティの相乗効果を利用し、世界各地の主要なイベントでも警備ソリューションを提供。2006年トリノオリンピック(冬季)をはじめとし、ラクイラ(イタリア)開催G8サミット、2012年ロンドンオリンピック、2014年ソチオリンピック(冬季)、2014年コモンウェルスゲームズ・グラスゴー大会、2015年ミラノ国際博覧会(EXPO Milano 2015)などで活躍しています。また現在は、カタールで開催されるFIFAワールドカップのインフラ構築業務をしています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

重要インフラと地上のセキュリティでターンキー・システムを構築したLeonardo。総合的かつ安全なコミュニケーションネットワークを設計し、治安や救急サービス、市民保護機関、輸送インフラに関する信頼性の高い効率的な情報管理を実現しました。当社の相互運用の統括制御室で、通常時および異常事態発生時の管理において、状況の把握と警備担当者の効果的な介入がより容易になりました。Leonardoが提供するメジャーイベントおよびスタジアム管理のソリューションで、イベント主催者やクラブ、行政、警察、救急隊相互の連携が増し、危機的状況の回避と軽減のみならず、ファンとのエンゲージメントの構築や商業的マーケティングにも貢献しました。



London Fire Brigade Enterprises Ltd

169 Union Street,
London SE1 0LL, UK

www.lfbenterprisesltd.co.uk

Kathryn Bloomfield
Director
+44 78 2725 8088
Kathryn.bloomfield@lfbenterprisesltd.co.uk

London Fire Brigade Enterprises Ltdはロンドン市消防局のビジネス部門です。ビジネスの世界に、英国の首都で発生した火事や救助活動の経験やスキル、知識を伝えることができます。具体的には、コンサルティングやトレーニング、消防関連製品の提供も含まれます。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

London Fire Brigade Enterprises Ltdは、消防活動に関する監視、管理、活動支援に直接参加し、経験のあるコンサルタントをイベントに派遣可能です。具体的な参加実績としては、ロンドンオリンピック2012やラグビーワールドカップ2015、また、ロイヤルウェディングや女王即位60周年ダイヤモンド・ジュビリーといった主要行事が挙げられます。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

国家消防防災レジリエンスの保障と調整。
オリンピック関連の火災やテロ対策—予防・運用業務の策定、管理、実施。他の緊急サービス組織や軍、地方当局、自治体との協力調整。対象はオリンピック・パークおよびロンドン全域

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

RWC関連の火災やテロ対策—トゥイッケナム・スタジアムやウェンブリー・スタジアム、およびその他のロンドン会場に対する予防・運用業務の策定、管理、実施。
ロンドン警視庁やその他緊急事態対応サービス組織、地元自治体との協力調整。



Make

32 Cleveland Street,
London W1T 4JY, UK

www.makearchitects.com

Stuart Fraser, Andrew Taylor
Architects
+44 20 7636 5151
stuartfraser@makearchitects.com,
andrewtaylor@makearchitects.com

数々の受賞歴を有する国際的な建築設計事務所「メイク」は、伝統への挑戦と卓越したデザインへの追及で高い評価を獲得しています。

2004年に創設されて以来、世界各地の様々な分野で1000件以上のプロジェクトに携わってきました。私たちの任務はただ1つの目的に沿ったものです。それは、世界で最高の建築、場所、空間をデザインすることです。

優れた建築は優れた組織のみによって生み出されるということを、私たちは知っています。

だからこそメイクで働く者はそれぞれがビジネスオーナーなのです。当社の民主的な労働環境により、創造的な才能を惹きつけ、確保し、さらにそれを伸ばすことができ、また、スタッフは共通の目的意識を分かち合うことができます。様々な業種や分野の専門家たちとの、幅広い繋がり協力することにより、知識と経験に裏打ちされた最良の成果、すなわちデザイン性、施工性および建物の効率性といった特性を兼ね備えた建築を実現することができるのです。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

様々な用途の建築プロジェクトを行いつつも、下記のスポーツ関連施設のプロジェクトにも携わっています。

サウジアラビア、ジッダ

アブドラ国王スポーツシティ アクアティクス・センター並びにレクリエーション・センターのためのコンセプトデザイン

中華人民共和国、重慶

梁平スポーツセンターのためのコンセプトデザイン

スペイン、バルセロナ

FCバルセロナ 新パラウ・ブラウグラナの指名コンペ

イギリス、ロンドン

ウェンブリー・スタジアム周辺およびトッテナム・スタジアム周辺マスタープランのための建築計画許可申請

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

メイクは、2012年ロンドンオリンピックが与える変革の力を直に目撃しました。ロンドンオリンピックは、イギリスの首都全体にとって都市再生の触媒となり、景気刺激策として作用したのです。弊社は2012年ロンドンオリンピックのすべての段階において、中心的な役割を果たしました。非常に順応性が高い恒久的なスポーツ施設の設計に成功した数少ない建築設計会社の1つであり、クイーン・エリザベス・オリンピック・パークを居住用およびホスピタリティ用の施設に改修するプロジェクトに、現在も参画しています。

その他、カッパー・ボックス、ダートフォード道場、ポディウム・ビジターセンター、チョバム・マナー、オリンピック選手村建築計画許可にも携わりました。



momentum
transport consultancy

Momentum Transport Planning

Clerkenwell House
23 Hatton Wall
London EC1N 8JJ UK
<http://www.momentum-transport.com>

Will Durden
Director
0207 242 0228
Will.durden@momentum-transport.com

Momentumはスポーツ会場や主要な国際大会における群衆と輸送計画の提案に特化した業界トップクラスのコンサルティング企業です。弊社の専門チームは、分析的なモデリングや設計、計画作りのアドバイスに裏付けられた群衆と輸送計画の開発で数多くの経験を積んでいます。

弊社が提供するものは、輸送コンサルティングに対する総合的なアプローチです。人・輸送・移動のニーズの理解と統合に基づき、デザインソリューションの実現や導入を支援しています。これには、さまざまなプロジェクトのステージで最適なバランスを保てるよう、輸送の計画作り・モデル作りの担当者やエンジニア、デザイナーのスキルが不可欠です。弊社の成功は、一貫してプロジェクトに携わるコアチームの関わりが鍵を握っています。弊社の技術チームは、プロジェクトが確実に構築できるようにいち早く結果をチェックするとともに、プロジェクトチームそのものが、成功する計画作りに不可欠な基本条件を満たしているかということも確認しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

弊社はこれまで世界各地のメジャースポーツ大会や有名なイベントに40以上参加しています。具体的には、2022年FIFAワールドカップが開催されるカタールのカタール・ファンデーション・スタジアムとアル・ラーヤン・スタジアム、バルセロナのカンプ・ノウ・スタジアムの再開発、2014年FIFAワールドカップブラジル大会のマラカナン競技場をはじめとする8会場、FIFAワールドカップ南アフリカ大会の2会場、ロンドンのウェンブリー・スタジアムとオリンピック・スタジアムの長期計画および実施、2012年ロンドンオリンピックの計画および運用、2011年および2013年のUEFAチャンピオンリーグ決勝の計画策定、2015年ラグビーワールドカップ、IAAF2017年世界陸上競技選手権など。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

大会開催に先立ち、弊社はオリンピック・スタジアムとオリンピック・パークの計画には初期段階のコンセプトから取り組んでいました。例えば、計画作りと建設、群衆行動モデリングのマイクロシミュレーションの開発、インフラの特定(橋の幅など)、ハイウェイや輸送システムの設計、群衆・交通管理の詳細な運用計画の構築などです。大会開催中は、組織委員会に会場輸送の責任者として出向し、観客とオリンピックファミリーの輸送サービス、交通管理、公共交通機関との折衝、ラストマイルの歩行ルートの確保に取り組みました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

弊社は2015年ラグビーW杯の主要会場2カ所、ウェンブリー・スタジアムとロンドン・オリンピック・スタジアムで、群衆・交通管理計画の構築を担当。会場輸送責任者と密に連携を取りながら、弊社のチームが詳細な交通管理の計画および群衆管理の戦略、ダイナミック群衆行動モデリング、輸送需要の予測、観客移動調査・分析、関係者輸送計画を開発しました。



MOSIMANN LTD

11B West Halkin Street,
London SW1X 8JL, UK

www.mosimann.com

Philipp Mosimann
Managing Director
+44 20 7235 9625
Philipp.mosimann@mosimann.com

ロンドンのベルグレービアにあるアントン・モシマンがオーナーシェフを務める一流会員制レストランおよびケータリング会社です。

弊社はケータリングサービスで英国王室御用達のお墨付きを得ています。
また、小規模・大規模両方のイベントに料理を提供するパーティ・サービスでも知られています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

ウィリアム皇太子殿下とケンブリッジ公爵夫人キャサリン妃の披露宴で料理を提供しました。
また、北京、バンクーバー、ロンドン、ソチ、リオのオリンピック、サッカーW杯リオ大会、ミラノ万博でもホスピタリティ・ハウスで料理の提供を行いました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

スイス・ハウス、USAハウス、ケンジントン宮殿内のオランジェリー、Mosimann's Club、限定ガラディナーという5つの会場で1日4,000人ものゲストに食事を提供するという栄誉に浴しました。



Mott MacDonald Ltd.

10 Sydenham Road,
Croydon CRO 2EE, UK
www.mottmac.com/buildings/sports-and-events

James Middling
Global Head of Sport and Events
+44 20 7651 0675
James.middling@mottmac.com

Mott MacDonaldは、エンジニアリング、マネジメント、開発コンサルティングを行う20億ドル規模の企業です。国際競技大会では世界有数のスタジアムやレジャー施設で業務に携わって70年を迎えます。国際的な専門知識と技術面でのスキルは、採算性調査から基本計画、資金調達・輸送計画、エンジニアリング、プロジェクト・マネジメント、運営、メンテナンスまで、スポーツ施設の開発にかかわるあらゆる側面を網羅しています。また、長期的な成功に貢献しながら、オーバーレイの設計、既存会場の再利用・改造、仮設・常設会場、大会後の整備計画、サステナビリティといった分野の専門知識も提供しています。選手、観客、所有者のニーズだけでなく、準拠法や規制内容も熟知しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

Mott MacDonaldが提供した主要大会のコンサルティング・ソリューションは以下の通りです。

2014年コモンウェルスゲームズグラスゴー大会

① 射撃場の総合エンジニアリング・サービス ② 競輪場の費用関係コンサルティング ③ 交通需要マネジメント(TDM)

2015年パンアメリカン競技大会……射撃場のコンサルティング責任者

2016年リオデジャネイロオリンピック……仮設建築物・構造物用オーバーレイ設計、水・電力供給、排水・汚水処理、広範囲に点在する55会場

今後参加が予定されている主要大会

2018年コモンウェルスゲームズ(プリズベン)……輸送計画サービス

2018年アジア大会(ジャカルタ)……競輪場の総合エンジニアリング・サービス

2022年コモンウェルスゲームズ(ダーバン)……輸送計画サービス

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

オリンピックスタジアム……大会準備中から大会後のレガシーまでスタジアム設計のための観客、構造、機械電気、公衆衛生、火災に関連した全サービスのレビューを担当。

射撃場……射撃場3会場のエンジニアリングソリューション全体。高品質・低予算のMott MacDonald仮設ソリューションはすべてが分解可能で、2014年のコモンウェルス・ゲームで再利用されました。

ペドローーム(競輪場)、ハンドボール・アリーナ、イトン・マナー練習施設……外部技術審査のための構造物・建築物のサービス・エンジニアリング・コンサルティング

交通需要マネジメント(TDM)……ロンドンの交通・高速道路のアドバイザー。設計、実施、運用を担当。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

トゥイッケナム・スタジアム改修……ワールドカップに向けた7,500万ポンドのスタジアム改修で技術設計担当。インフラの改善、オーバーレイの必要条件を満たし、選手・メディアなどが利用しやすくするためのホスピタリティ、試合中の照明、大型ビデオスクリーンなどスタジアム施設の改修。

コスト管理および建築積算……ラグビーワールドカップの第2期工事に伴った顧客支援。業務は入札手続き作成、収益のチェック・分析、顧客への報告・アドバイスなど。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
Mott MacDonald Japan 株式会社
〒113-0034

東京都文京区湯島 1-12-4

小宮山ビル 8F

03 5812 4724

euan.low@mottmac.com



Movement Strategies Ltd

31-35 Kirby Street,
London EC1N 8TE, UK

www.movementstrategies.com

Simon Ancliffe

Chairman

+44 20 3540 8520

sancliffe@movementstrategies.com

Movement Strategiesは、人間行動を専門とする、世界最大の規模と経験を誇る独立したコンサルタント会社です。10年以上にわたり、群衆行動および人間行動の分析という新分野を切り開いてきました。この分野で最大の専門集団である、国際的かつ学際的なチームは、データ分析、オペレーション研究、輸送計画、エンジニアリング、都市計画、心理学、犯罪学、会場・イベント管理などの専門家で構成されています。主要4部門は、スポーツ+イベント、輸送、都市+文化、スマートシティです。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

世界で最も権威のあるスポーツおよびエンターテインメントイベントで実績があり、最近のプロジェクトは、以下の通りです。

- トットナム・ホットスパーの観客席6万1,000のスタジアムの設計および実施に関するコンサルティング。
- 群衆管理コンサルタントのリーディング企業として、2012年ロンドンオリンピックのマスタープラン策定・実施・運営に関するコンサルティング。
- オリンピック・リヨンの運営準備および新スタジアムの開設に関するアドバイス。
- ウィンブルドンテニス選手権のマスタープラン策定のため、群衆管理について全英ローンテニス協会にアドバイス。
- 新たなリテール・コンセプトをはじめとする、「ザ・O2アリーナ」のサービス向上計画立案のための情報提供。
- 2015年ヨーロッパ競技大会(バクー)の計画立案・実施・運営準備のコンサルティング。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドン大会の開催に際し、多くの主要な大会関係者に協力しました。オリンピック会場建設委員会(ODA)の代理として、オリンピックパークを設計・開園した建築技術コンソーシアムと協働しました。オリンピックパークの日別・時間別の需要予測を行いました。

また、群衆管理、アクセシビリティ、安全性、輸送に関する研究分野を統合した「オペラビリティ(実施可能性)」コンサルタントチームを率い、オリンピックパークの運営に関する基本構想を策定しました。

Movement Strategiesの群衆予測モデル、シミュレーション作業、および専門知識が、計画の承認や提案書の認可を取得する要となりました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

トゥイッケナム・スタジアム(開幕戦と決勝戦の開催会場)でのワールドカップ運営計画をサポートするために、2015年ラグビーW杯組織委員会に協力しました。テストマッチ中の新たな群衆管理および輸送計画を検証して得たデータを用いて、開幕前に運営計画の最終的なアップデートを行いました。スタジアムの緊急避難の際の収容能力の確保に関連して、開会式の計画の実現性についてのアドバイスも行いました。



Ninja Hub

Penlea, Market Street, Nailsworth,
Gloucestershire GL6 0BZ, UK
www.ninjahub.co.uk
www.campingninja.com

Geoff Vaughan

Special Projects Director

+44 14 5336 7234

geoff@ninjahub.co.uk

Ninja Hubは、世界最高レベルの競技大会で仮設宿泊施設を提供します。

大会組織委員会、マスタープラン担当者、大会主催者の仮設宿泊施設関連のコンサルティングを行います。

何が可能で、コストがどのくらいかかるのかを専門的に扱います。

主要なイベントで1泊につき2万人まで収容可能な仮設宿泊施設を設計から計画、建設、運用まで行います。

大規模なイベントで必要とされる宿泊施設の提供には自信があります。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2014年コモンウェルスゲームズグラスゴー大会開催中、1泊につき8,000人が宿泊可能な施設を用意しました。

4都市で、公式ボランティア・観客・スタッフ用に21泊分の宿泊施設も提供しています。

カーディフで開催される2016-17シーズンUEFAチャンピオンズリーグ決勝では、1泊につき5,000~7,500人収容できるファンとスタッフ向けの会場を運営予定です。

その他の競技大会は、ツール・ド・フランス、オリンピック、マウンテンバイク耐久レース、ラグビー・トーナメント、ホッケー・トーナメント、ゴルフ・トーナメントなど多数あります。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドン大会では、オリンピック・パラリンピックで13都市、1万2,000人に宿泊施設を提供。稼働は60日間にわたり、その間、世界51カ国から訪れた2,000人の公式ゲームメーカー(ボランティア)とスタッフ4,000人、6,000人を超えるファンのために会場を運営しました。

会場はすべて計画から設計、マーケティング、運営まで自社で担当しました。



Ordnance Survey International

Adanac Drive
Southampton
SO16 0AS
www.os.uk/international

John Kedar
Director Strategic Relations, Business
Development
+44 7825 113550
John.Kedar@osi.os.uk

Ordnance Survey (OS)とは、英国の測量局のこと。マスターマップ、つまり、英国の基本的な地理空間参照情報の維持を担っています。英国政府、一般市民、あらゆる企業が1791年より利用している正確かつ最新の地理空間情報は、このOSから提供されています。

Ordnance Survey International(OSI)は、OSの100%子会社です。広範なスキルと専門知識を提供して世界中で顧問サービスを行い、正確かつ継続的に権威ある地理空間情報をより効果的に管理することで、顧客が経済的、社会的利益はもとより、組織としても利益を得られるようにしてきました。専門的なサービスを提供し、Ordnance Surveyのエキスパートが地理空間データを最大限に活かす支援を行います。そして、観客の体験やコミュニケーション、警備の質を向上させることで、安全安心な2020年オリンピック(東京)大会やラグビーワールドカップを計画通りに実施し、成功に導きます。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2014年コモンウェルスゲームズ(グラスゴー)大会

大会期間中、Ordnance Surveyは地理空間情報を提供、さまざまな関係者と協力しながら、輸送管理や治安、緊急時の対応に関する事前計画策定・設計・構築に携わり、大会終盤まで、地理空間に関して大会の後方支援を行いました。その結果、関係部局の協働アプローチが可能になり、情報が食い違うことなく、運用計画を共有しながら大会運営を行うことができました。

2016年オリンピック(リオデジャネイロ)大会

Ordnance Survey Internationalは、ブラジル軍ジオグラフィックサービスの地図作成システムに、特別な地図一般化トレーニングプログラムを用い、地理空間のソフトウェアとハードウェアのツールを導入するために必要な経験と専門知識を提供しました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

Ordnance Survey(OS)は、2012年ロンドン大会のニーズに合った地理空間情報と知識を供給。オリンピックの計画策定および実施のあらゆる局面において必要な地理空間の情報が入手でき、支援ができるよう関係部署との連携をより広く行いました。

OSは、地理空間の参照フレームワーク、測位決定サービス、一次データ収集、空間分析、ウェブサービスと運用に関する調整や技術的なコンサルティングも行い、安心・安全な大会運営の実現に貢献しています。

我々は、OSが所有する地図作成知識を利用し、世界各国が大規模なイベントを成功裏に収める支援が可能なのです。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

ラグビーW杯に先立ち、OSは高解像度画像を提供し、イングランド14会場の地上の変更箇所を把握。W杯開催中、英国防衛ジオグラフィックセンターの地理空間支援を可能にし、安全・安心な運営で大会成功へと導きました。



Pcubed (Program Planning Professionals Ltd)

3-5 Crutched Friars,
London EC3N 2HT, UK

www.pcubed.com

Mark Sorrell
Head of Public Sector and Major Sporting Events
+44 79 7117 4589
mark.sorrell@pcubed.com

Pcubedは、プロジェクトやプログラムのマネジメントに関するコンサルティングサービスの世界的リーダーです。大規模なスポーツイベントの企画や機能を実行するためのセットアップの経験が豊富で、成功に導く感動的なイベントの実現に必要な資金正当化、保証、プロジェクトの実行に精通しています。

私たちは、32カ所のグローバルオフィスにおよそ1,200名のコンサルタントを抱え、多くの業種での業務経験からプロジェクトやプログラムマネジメントに成功事例を適用します。また2016年には、英国プロジェクトマネジメント協会(APM)の「年間最優秀プロジェクトマネジメント会社」の最終選考に残りました。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

弊社は、下記を含む数多くの大規模スポーツイベントをサポートしてきました。

2004年アテネオリンピック:

IOCの要件を満たす幹部向け経過報告。

2006年FIFAワールドカップドイツ大会:

理事会と会長をサポートするガバナンスのフレームワークプログラムを作成。統合プロジェクト計画機能を策定・展開。

2014年コモンウェルスゲームズ グラスゴー大会:

スケジューリング、危機、緊急事態、依存性、行動のマネジメント。幹部や理事会のレベルに合わせて、プロジェクトとパートナー向けの状況報告を手助けするシンプルなプロセスを提供。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

イギリスオリンピック委員会(BOA)はPcubedを「2012年ロンドンオリンピックのプログラムマネジメントにおけるコンサルタントサービス(ODA)のサプライヤー」として公式に承認しました。私たちは2006年から2012年までオリンピック会場建設委員会(ODA)に向けて、プログラムの枠組みの設定、ガバナンスや資金調達承認、意思決定支援、業務計画、会場プロジェクトの計画、投資対効果検討書の作成など、多数のコンサルタント業務に取り組み、また資金の確保においてCEOやCFOをサポートしました。当社は、選手の練習会場やロジスティクスやITプログラムを含む大会中の重要なプログラムを実施しました。2011年から2013年までオリンピック・パーク・レガシー公社の立ち上げのためプログラムマネジメントサービスを提供しました。



PKL Group (UK) Ltd

Stella Way, Bishops Cleeve, Cheltenham,
Gloucestershire GL52 7DQ, UK

www.pkl.co.uk

Peter Schad
Commercial Director
+44 12 4266 3000
postbox@pkl.co.uk

PKLグループは、英国における商業用のモジュール式キッチンの主要なサプライヤーであり、公共および民間市場の双方に広範囲にわたりサービスを提供しています。600の仮設キッチンとケータリング機器10,000点を賃貸用に備えた当社は、改装中、緊急時やイベント時に顧客をサポートしています。

PKLはまた、予め組み立てられたモジュールとして現地に配達することができ、迅速な設置が可能な高性能の商業用厨房など常設のモジュラーキッチンソリューションも提供しています。当社のKitchenPodおよびFood Cube製品は、その革新性に対して業界における様々な賞を受賞しています。

さらにPKLでは、ケータリング不動産管理ソリューションを提供するほか、オリンピック大会などのメジャースポーツイベントにおいてスポーツ選手への食事供給に使用される大規模なイベントキッチン複合施設を専門的に取り扱っています。当社の国際部門は、アフリカの鉱山キャンプから南極の研究機関まで、専門のキッチンソリューションを幅広く世界中の現場に供給しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

PKLは、15年以上にわたってメジャースポーツイベントにおける大規模な仮設ケータリングインフラを提供してきました。主要なイベントのキッチンに熟知した世界有数の専門家として、当社では仮設キッチンの設計、仕様、設置、技術サポート等の全側面を網羅した完全な一括請負サービスを提供しています。

当社のソリューションには、メーンの選手村キッチンとダイニング複合施設、メディアケータリング施設、および、ホスピタリティエリアや大規模な一般用ケータリングエリアのためのケータリングインフラなどの提供が含まれています。当社が仮設キッチンおよびダイニング施設を提供したイベントには、オリンピック(2002~2016年)、冬季オリンピック(2010~2014年)、コモンウェルス競技大会(2002~2014年)などのメジャーイベントがあります。その他にもパンアメリカン競技大会、アジア競技大会、ユースオリンピック、アジアビーチゲームズ、全アフリカ競技大会などにもサービスを提供してきました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドンでは、当社はメーンの選手村のキッチンとダイニング複合施設、メディアセンターのキッチン設備、一般用およびスタッフケータリング用の食品店を94店舗、12軒のオリンピックスポンサーのシャレーとIOC高級レストランのキッチン設備およびケータリング機器を提供しました。

ケータリング機器の提供だけでなく、現地に拠点をおく専門技術者とともに、オリンピックの期間を通して24時間体制によるメンテナンスの下で、電気、配管および機械的サービスならびにすべての地下排水工事およびポンプ等の設計と設置も行いました。敷地の広さは19,200平方メートル、選手の食事施設だけで1日に6万食以上の食事を提供しました。



Positive Impact Events Ltd

1st Floor Fourways House, 57
Hilton Street, Manchester M12BE, UK

www.positiveimpactevents.com

Fiona Pelham
Managing Director
+44 79 8065 1781
fiona@positive-impact-events.com

Positive Impactは世界各地で事業を展開し、持続可能なイベント産業を創造するための教育・協力機会を提供している非営利団体です。

ISO 20121の実施方法やGRI-EOSS(イベント主催者向けの持続可能性報告ガイドライン)に準拠して報告する方法についての教育を、オンラインと対面で提供しています。

持続可能なイベント産業の創出の仕方について紹介するキャンペーンを世界規模で行っており、その中には2017年の「Telling the story of the power of events during the UN year of sustainable tourism for Development(国連の持続可能な観光国際年におけるイベント効果についての説明)」などがあります。

国際的なイベント業界団体、国際的なサステナビリティ専門家、イベント業界サプライチェーンと提携することで、持続可能性ソリューションを提示し、この分野でリーダーシップを発揮している人々の認知度を高めることを目指しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

Positive Impactでは、2014年よりセレスポ社と共同でステーキホルダーエンゲージメントのための年次イベントを開催して、日本のイベント産業に対しサステナビリティに取り組む行程の支援を行っています。

また、70,000人を超えるグローバルコミュニティに対して、コモンウェルスゲームズ・グラスゴー大会、2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック、グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードといったスポーツイベントに関する共通の知識や成功事例を提供し、教育を行ったりしてきました。

その他にも、スポーツイベント産業がISO 20121を実施して、GRI-EOSSに準拠して報告できるようにすることを目的として、国際オリンピック委員会とスポーツアコードの資金提供により2つのオンライン教育モジュールを作成しました。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
株式会社セレスポ
〒170-0004
東京都豊島区北大塚 1-21-5
03 5974 1111
info@positive-impact-events.com

PURPLE+RED

Purple+Red Limited39 Sisters Avenue,
London SW11 5SR, UKPhil Sherwood
+44 77 0226 3173
+44 20 7924 2292
phil@purpleandred.co.uk

Purple+Redは大規模かつ複雑な人を中心としたプロジェクトを専門とする戦略コンサルティング会社です。創業社長のフィル・シャーウッドは、英国内外を問わず政府最上層部における戦略や政策の構築で25年以上の経験を有します。複雑な環境で政策を実施し、幅広いサービス部門の運用能力を評価してきました。組織上層部との業務では、有意義な訓練や能力開発、取り組みを通して、人の可能性を最大限に引き出すために戦略的環境の機会に焦点をあてています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2012年オリンピック・パラリンピックロンドン大会
ツール・ド・フランス
デンマーク政府が設立した「スポーツ・イベント・デンマーク」

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年まで、シニアリーダシップチームの一員だったフィルは、ロンドンオリンピック・パラリンピック組織委員会(LOCOG)のGames Makerプログラムで、ボランティア研修チームのリーダーとして活躍。英国最大規模の人材採用活動で、82部門860職務で7万人におよぶオリンピック・パラリンピックボランティアの募集・選抜・任命を担当しました。また、価値観に基づいた人材研修プロジェクト(対象者:ボランティア約20万人、業者、LOCOGスタッフ)の責任者として、予算総額2,000万ポンド以上にのぼるプログラムをまとめました。



...training that works

Quadratica UK LimitedInnovation Centre, Innovation Way,
Grimsby, DN379TTChris Grey
Director, Executive
+44 14 7289 8751
c.grey@quadratica.co.uk

www.quadratica.co.uk

Quadratica UKは、セキュリティ人材向けコンピュータ/ウェブベーストレーニング(C/WBT)の提供で世界トップの企業です。弊社の製品はさまざまな業界でトレーニングが導入できるように設計されており、運用に伴う変化にも迅速に対応する特別仕様も可能です。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

弊社は、2000年オリンピック(シドニー)大会以来、さまざまな形でメジャーイベントに携わってきました。後方支援が基本であり、他のサービス・機材の供給業者とともにパートナーとして大会を支えています。(パートナーを組まず一企業として従事したこともあります)

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

本大会はC/WBTとしても大きな実績となりました。というのも、当初弊社が請け負ったのは、出身母体が違うスタッフ8,000人のトレーニングでしたが、トレーニングが完了した頃には様相が大きく変わっていたからです。最終的には、開会式までの2カ月で2万2,000人のスタッフのトレーニングを実施しました。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
全日空商事株式会社
〒105-7140
東京都港区東新橋 1-5-2
汐留シティセンター
03 6735 5233
yuzawa@anac.com



R3S Global Limited

International House, Queens Road,
Brighton, East Sussex BN1 3XE. UK

www.r3s-global.com

Andrew Amery
Director (Major Events)
+44 79 6759 0671
Andrew.amery@r3s-global.com

R3S Globalは、リスク管理と態勢整備を専門とする、2012年ロンドンオリンピック・パラリンピックを機に誕生した企業です。当社の主な製品とサービスは以下の通りです。

- 戦略的リスク評価とプランニング前提事項の構築
- セキュリティマスタープランの作成
- 戦略およびセキュリティコンセプトの構築
- セキュリティデザインの構築環境への統合
- 必要条件の確定とセキュリティシステムおよびインフラストラクチャの実施
- 担当機関および組織内のセキュリティ統合
- 危機、事故管理のトレーニングとレビュー
- 態勢整備、テスト、演習
- 提供内容の包括的保証

グローバルスポーツイベントにおける実績:

R3S Globalを構成するパートナーたちは皆2012年ロンドンオリンピック期間中、高度なセキュリティ業務を担い、中には入札準備の最初から大会運営の実施、解散、レガシー段階まで取り組んだパートナーもいます。その後、2016年リオデジャネイロオリンピック、2020年東京オリンピック、2017年アジアインドア・マーシャルアーツゲームズ、ツール・ド・フランス、2022年カタールFIFAワールドカップなど、その他のメジャーイベントにも携わり、戦略的セキュリティに関する助言や指導、保証を提供しています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

R3S Globalの役員は2012年ロンドン大会で責任ある要職を担いました。アンドリュー・アメリーは2012年ロンドンオリンピック組織委員会のセキュリティ部門の責任者を務めました。セキュリティのコンセプトを構築し、その他のセキュリティ関係機関と連携を取りながらプログラムの実施を監督、セキュリティを広範な大会計画に統合しました。スティーブン・クーバー大英帝国四等勲士はオリンピック建設委員会(Olympic Delivery Authority)の責任者を務めました。オリンピックパーク、選手村、メディアセンターの全てのセキュリティシステムおよびインフラストラクチャの計画・実施を担当しました。クリス・スコット大英帝国四等勲士は英国政府による準備プログラムの責任者を務めました。大会全体のテスト・演習プログラムの陣頭指揮を取り、最終的には72時間にわたる、大会運営の全レベルを対象とした5,000人規模の演習テストイベントを実施しました。クリス・スコット大英帝国四等勲士は英国政府による準備プログラムの責任者を務めました。大会全体のテスト・演習プログラムの陣頭指揮を取り、最終的には72時間にわたる、大会運営の全レベルを対象とした5,000人規模の演習テストイベントを実施しました。



Redmandarin

Somerset House, The Strand,
London WC1R 2LA, UK

www.redmandarin.com

Shaun Whatling
CEO
+44 79 3123 4022
shaun.whatling@redmandarin.com

Redmandarinは、顧客がスポンサーシップの投資から平均以上の事業収益向上を実現できるように支援します。大半の企業は、スポンサーシップがどのように機能するのか、スポンサーシップでどのような商品価値が生じるのか、評判・収益・社内の状態に与える影響をどのように最大化するのかを表面的にしか理解できていません。Redmandarin独自のアプローチは20年近くに渡って培われてきた経験と学び、さらには専門的なサービスと広告ビジネスの手法に基づいたものです。

顧客の投資が活性化し、結果を出せるようなスポンサーシップ計画で顧客を支援しています。専門的なスポンサーシップ計画は日本ではまだ見られませんが、イベントのプロモーションやデジタル、広告に投資した金額が無駄にならないようにするためにはなくてはならないものです。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

Redmandarinはオリンピック、FIFAワールドカップ、UEFAチャンピオンズリーグ、F1などすべての主要な競技大会の他、ラグビー、体操、テニス、バドミントン、水泳、ボクシングなどさまざまなスポーツ大会で業務を展開しています。弊社の顧客であるスポーツのスポンサー企業の製品分野は30以上で、例を挙げると、アーンスト・アンド・ヤング、デロイト、ドイツ・テレコム、ソニー・エリクソン、東芝、フィリップス、日産、フォルクスワーゲン、ペプシ、国際的なビールメーカー10社、国際的な銀行6社、エリクソン、シーメンスなど多数あります。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドン大会では、ロイズ銀行、セインズベリーズ、BA、デロイト各社にプランニング・サービスを提供。ロイズ銀行は、2012年ロンドン大会のパートナー企業の中でも最も成功した例として広く認識されている企業で、ロンドン2012組織委員会から入札公告が発表された翌日にはRedmandarinと業務を提携し、2012年までRedmandarinのオリンピック関連主要顧客でした。Redmandarinが提供したプランニング・サービスは以下の通りです。スポンサーシップ交渉、キャンペーンのプランニング、従業員のエンゲージメント、社内コミュニケーション、従業員向けインセンティブ・プログラム、社外コミュニケーション、実践に向けた設計・計画作り・計画の実施、調査から役員会への報告まですべてを含めた評価方法論、大会開催時の運営、PRおよびホスピタリティ業者の調達、アンバサダーの選定・交渉。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
EY Advisory and Consulting

RH CONSULTING

INTELLIGENT AUDIO ADVICE

RH Consulting44 Mount Ephraim, Tunbridge Wells,
Kent TN4 8AU, UK

www.rhconsulting.eu

Roland Hemming
Audio System Consultant
+44 77 7828 2031
roland@rhconsulting.eu

私たちはスポーツプロジェクトの豊富な経験を持ち、ロンドン近郊に拠点を置くオーディオコンサルタントです。私たちは、リオ及びロンドンオリンピック両方のオーディオ配信において重要な役割を果たしました。ウェンブリー、アーセナル、トゥイッケナム、イブロックス、ローズ・クリケット・グラウンド、アムステルダムアリーナ、アブダビのアルアインスタジアムなど、多くのスタジアムにおいてデザインからプロジェクト管理、性能検証までを行いました。私たちは大規模施設における安全対策のためのオーディオシステムの専門家であり、これに関する唯一の本を執筆しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2016年リオオリンピックセレモニーのシニアプロダクションマネージャーとして、オリンピック及びパラリンピックの開会式と閉会式のオーディオシステム全て、コミュニケーション、特殊効果を担当。この業務には、さまざまなオーディオ関係業者との調整が含まれました。地元および海外スタッフとの共同作業、放送チームとの広範な連絡を務めました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ロンドンオリンピック・パラリンピック組織委員会では会場のオーディオ担当技術マネージャーを務めました。セレモニーを除くすべての競技のオーディオを担当しました。この業務には、400以上のオーディオシステムの提供の他、リギング、放送、電波スペクトル、安全対策や障害者支援、コンプライアンスのためのオーディオといった非常に幅広い課題について多くの関係者と連携し、アドバイスを行うことが含まれました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

大会前にトゥイッケナムスタジアムにて行われたオーディオシステムアップグレードのプロジェクト管理とシステムコミッションング。大会期間の試合中のサポート業務も行いました。

**株式会社ライノ・パワ・ジャパン (ライノラグビー)**〒178-0062
東京都練馬区大泉町1-7-1

https://rhino.direct

高橋 三郎
代表取締役
080 3361 8377
saburo@rhinorugby.com

英国発祥のラグビー用品メーカーとして、ラグビーに関する様々なゲーム・トレーニング・テクニカル用品の製造と販売、ライノブランドのライフスタイル・スポーツアパレル製品のライセンス展開、高品質スポーツ用人工芝システムの導入支援を行う。また、世界中に広がるライノのネットワークを活かして、遠征コーディネーター、キャンプ地誘致、イベント、ホスピタリティプログラムや通訳などのコンサルティング業務も行う。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

イングランド代表、ウェールズ代表、南アフリカ代表、日本代表や世界中のトップチームへ公式サプライヤーとしてテクニカル用具を提供している。欧州3大リーグの一つ「Pro12リーグ」や国際7人制大会において公式球として採用されている。人工芝システム「ライノ・ターフ」はイングランドのプロチームやサッカーのチェルシーFCなど、トップチームに採用されている。

リオオリンピックに関しては、リオから採用された7人制ラグビーにおいて、競技場に必要ゴールポスト、ポストパッドなどの用具のほか、各代表チームに支給される練習用具を提供。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

2011年NZ大会に引き続き、2015年イングランド大会においても、大会公式サプライヤーとして、参加全チームへ練習用具の提供を行うほか、同商品群の公式マーチャングッズとしてトレーニング用具の販売を行う。また、日本からのVIP視察におけるコーディネーションと通訳業務を行う。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
伊藤忠商事
〒530-8448
大阪府北区梅田 3-1-3
06 7638 2350
Kanou-te@itochu.co.jp



日本のビジネス・パートナー、販売代理店
株式会社サトウファシリティーズ
コンサルティング
〒105-0001
東京都港区虎ノ門 4-3-10
虎ノ門きよしビル 6階
03-5402-6080
asksfc@sfc-net.co.jp

Rider Levett Bucknall

60 New Broad Street
London EC2M 1JJ UK

www.rlb.com

Russell Lloyd
Partner
+44 20 7398 8300
russell.lloyd@uk.rlb.com

以下に関わる会場およびインフラのコスト管理を行います。

- マスタープラン作り
- インフラ
- レガシーとして残す会場
- 仮設会場
- 物理的な警備システム
- オーバーレイ
- 主催都市招致

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2020年東京オリンピック
2018年コモンウェルスゲームズゴールドコースト大会
2016年リオデジャネイロオリンピック
2015年ラグビーW杯イングランド大会
2015年ヨーロッパ競技大会バクー大会
2014年コモンウェルスゲームズグラスゴー大会
2012年ロンドンオリンピック
2006年コモンウェルスゲームズメルボルン大会
2000年シドニーオリンピック

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

会場とインフラのコスト管理
• 仮設インフラ
• 仮設会場
• オーバーレイ
• 仮設の物理的警備システム

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

会場とインフラのコスト管理
• 会場オーバーレイにかかわるコストの評価



日本のビジネス・パートナー、販売代理店
帝国繊維株式会社
〒103-0027
東京都中央区日本橋二丁目1番10号
柳屋ビル
03 3281 3026
teisen-tyo@teisen.co.jp

Scanna MSC Ltd

223 Regent Street,
London W1B 2EB, UK

www.scanna-msc.com

Paul Taylor
Sales & Marketing Director
+44 20 7355 3555
info@scanna-msc.com

Scannaは脅威のスクリーニング・検知装置のイギリスの一流メーカーです。

製品の例:

バッグおよび車両の検査に利用する高性能で即時に配置可能な携帯型X線装置

初期対応者用の軽量背負式X線装置

密閉区域で脅威を検知するためのコンパクトなフラットパネルX線装置

グローバルスポーツイベントにおける実績:

ScannaのScanX Scout携帯型X線装置は2014年のFIFA W杯および2016年のオリンピックに関する保安検査要件を支援するために、競争入札を経てブラジル警察によって選ばれました。

このフラットプレート型X線装置は、オペレータがわずか2分以内に配置できる非常に軽量のX線製品で、ハンドバッグなどの小さな物体だけでなく、大型の配送品・貨物や車体パネルも対象とすることができます。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

Scannaフラットプレート型X線装置は2012年ロンドン大会の全国的な警察・軍隊用携帯型爆弾対応ソリューションの一部に加えられました。怪しい荷物や車両の調査の必要要件を支援します。



SecuraSeal Ltd

Unit 5 & 6, Marley Way, Banbury,
Oxfordshire OX16 2RL, UK

Will Duggins
Managing Director
+44 77 1858 2825
will.duggins@securaseal.co.uk

SecuraSealは高品質の保護フィルムの世界的なサプライヤーで印字された機密文書のラミネート加工やカプセル化も行っています。世界各国の政府から信頼を得て、現在、2億5千万を超える身元確認書類が当社の製品を使用して保護されています。

SecuraSealは、スポーツイベント向けのセキュリティ認証パスをオリンピック、コモンウェルスゲームズ、世界選手権などに提供しています。安全かつ機能的なイベントパスを作るためには特注の用紙とセキュリティーラミネートを組み合わせたフォーマットで安全性が最重要事項となります。本製品にはビザ入国レベルのセキュリティ、RFID(無線ICタグ)、ホログラム、触覚センサー機能、UV印刷、透かし、隠し文字なども組み込まれています。数多くの世界的イベントでの経験や資料から、それぞれのイベントの厳しい基準や要件を満たすのに最適なものを提供できます。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2016年リオデジャネイロオリンピック
2015年ラグビーW杯
2015年第1回ヨーロッパ競技大会(バクー)
2015年パンアメリカン競技大会(トロント)
2014年コモンウェルスゲームズ グラスゴー大会
2012年ロンドンオリンピック

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ビザ入国必要書類および大会パス用のすべてのセキュリティ認証ラミネートおよび紙製品の供給。ラミネーター。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

ラグビーW杯のためのすべてのセキュリティ認証ラミネートおよび紙製パスの供給。駐車パスカード、リストバンド、補助パス、緊急パス、ラミネーター。



Smiths Detection - Japan

〒105-0001
東京都港区虎ノ門 5-1-5

www.smithsdetection.com

松岡 英司
セールスマネージャー
03-5776-4700
eiji.matsuoka@smithsdetection.com

会社概要

- ・ 生産拠点6カ所
- ・ 地域別営業所12カ所
- ・ 売上200カ国以上
- ・ 売上の大半は政府および省庁、その数100以上
- ・ 研究開発センター4カ国
- ・ 従業員数約2,000人
- ・ 資格を有したエンジニアおよび科学者300人以上

設置内容

- ・ X線検査システム180カ国以上75,000件以上
- ・ 世界各地に配置された爆発物検出装置24,500件以上
- ・ 国際空港に設置された機内持ち込み手荷物X線自動検査システム1,800件以上
- ・ 高エネルギーHCV貨物検査システム70カ国以上約600件
- ・ 世界各地で顧客納品済み化学物質検出装置22万件以上
- ・ 都市、地域社会、慎重な対応が必要とされる場所を守るため、世界中にいる何万というファーストレスポンドー(緊急時、最初に現場にかけつける人)が使用する、耐久性が高く持ち運び可能な脅威検知機器

グローバルスポーツイベントにおける実績:

弊社キットがいつどのように使用される予定なのか常に分かっているわけではないため、残念ながら詳細はお伝えできません。必要時に機器の配置の是非を判断するのはあくまでも顧客(英国国防省、警察、ファーストレスポンドー)です。ただし、グロリアス・グッドウッド(英国グッドウッド競馬場で開催される有名なレース)で弊社のキットが配置、検査に使用されたことは分かっています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

間接的に使用された可能性あり。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

間接的に使用された可能性あり。

日本のビジネス・パートナー、販売代理店

S.T. Japan, Ltd.

〒103-0014

東京都中央区日本橋

蛸殻町 1-14-10

Analytica ビル

03-3666-2561



SP Services (UK) Limited

Bastion House, Hortonwood 30, Telford,
Shropshire, TF1 7XT, UK

www.spsservices.co.uk

Paul Watts
Head of Business Development
0044 7874 803 999
paul.watts@spsservices.co.uk

SP Services (UK) Limitedは、世界各地で救急処置、医療、救急車、救急医療・救急救助製品を提供しています。絆創膏から重度な傷や病気を処置するトラウマキット、除細動器、担架まで広範な製品を取り揃えており、大手EMSブランド他、オリジナルブランドのSP、Donway、Parabagブランドも数多く手がけています。製品供給ネットワークも万全で、社内には受発注商品の設計が可能なチームも編成されています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

数多くの英国プレミアリーグフットボールクラブに救急用バッグ、救急担架を供給しています。また、弊社の医療器具や消耗品は、さまざまなスポーツイベントで使用されています。2017年ロンドン世界陸上選手権とアシガバットで開催されるアジアインドアゲームズでは公認サプライヤーとなっています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドンオリンピック大会では医療器具・消耗品の公認サプライヤーとして500を超えるBLS、ALS、個人用医療キット、担架、AED、吸引装置などを納品しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

イングランドラグビーの本拠地であるトゥイッケナムスタジアムなど、数多くのプレミアシップリーグや下部のラグビークラブに製品を供給しています。

Space Syntax

Space Syntax Limited

21 Brownlow Mews,
London WC1N 2LG, UK
UK: www.spacesyntax.com
JPN: www.spacesyntax-japan.com

高松 誠治
Representative in Japan
(Managing Director of Space Syntax Japan)
UK: +44 20 7400 1320 JPN: +81 3 3403 3299
s.takamatsu@spacesyntax-japan.com

スペースシンタックスは、英国発祥の都市・建築空間デザイン分析手法です。空間レイアウトの良否は人々の行動に影響を与え、ひいては社会的・経済的・環境的な価値を左右します。多額の投資を伴う開発の効果・価値を確実に得るため、また失敗のリスクを抑えるための助言を提供します。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

ストラットフォードのマスタープランなど、スポーツイベント会場を含むエリア全体の空間レイアウト分析を通じて、歩行者の移動や滞留という観点から空間構成や機能配置についての検討・助言を行ってきました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ロンドンオリンピック会場周辺について、開催中とレガシーの両モードでの空間機能の効率性について、分析・助言を行いました。その成果は、ロンドンレガシー開発公社の委員会などでも引用されています。

クライアント: オリンピック会場建設委員会 (ODA)

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
スペースシンタックス・ジャパン
株式会社
〒541-0046
東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-52-5-206
03 3403 3299



StadiumTM (Stadium Traffic Management Ltd)

Design Hub, Puma Way, Coventry
University Technology Park,
Coventry, CV1 2TT
www.stadiumtm.co.uk

David McAtamney
Managing Director
02476 158139
david@stadiumtm.co.uk

StadiumTM Event Servicesはイベントの実施可能性を高める「イベント最適化」サービスを提供する企業です。「人の移動」を専門としています。安全性、円滑な統合、顧客に対するより楽しい経験を提供するための改善を促します。イベント交通管理、イベントでのスチュワーディング、イベント警備を統合したサービスを通じてこれを実現し、さらに、専門家によるコンサルタント業務、企画立案、人材募集・訓練サービスで補完しています。訓練部門は主要スポーツクライアントのために2,000以上の英国の「ゴールドスタンダード(黄金基準)」を満たすスチュワード訓練コースを全国的に実施。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

裏付けとなる業績:

(1) 2012年ロンドンオリンピック、2014年コモンウェルスゲームズ・グラスゴー大会、2015年ラグビーW杯、2016年国際ビジネス・フェスティバルなどのメジャーイベントでの実績 (2) リバプールFCやバーンリーFCなどのプレミアリーグのサッカークラブの支援。社内の公式な訓練部門によって訓練を受けた約200人のスタッフなど、顧客に合わせた管理されたサービスを提供。

「この4年間、StadiumTMはリバプール・フットボールクラブと提携して、交通管理要件に対処してきました。

StadiumTMは極めて高い水準で試合日の交通管理業務の策定および実施を行っています。職員は十分な訓練を受け、豊富な知識を有する優秀な人材であり、入場ゲート管理、SIA資格の保安警備、安全面でのスチュワーディングの分野で当クラブを支援してくれています。私はこの会社を強く推薦します。彼らは当クラブとの強固な提携関係を維持するために通常以上の努力をする人達だからです。当クラブにとって彼らは受託業者ではなく、事実上、信頼のおける同僚といえます。」(リバプールFC安全管理者のポーガン・ポラード談)

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

StadiumTMはオフィシャルサプライヤーとしてロンドン大会の23カ所の会場に合計約700人のスタッフを配置して主要な群衆管理および交通管理サービスを提供しました。StadiumTMは業務が本番を迎える3週間前にサプライヤーとしての発注を受けました。StadiumTMが目指す、期限を守り、一貫した高品質の水準で契約を遂行するにあたって、厳しい時間的制約の中で広範囲に及ぶ人員の配置計画および管理を行わなくてはなりません。

StadiumTMはサリー州ボックスヒルでの自転車ロードレースにおける、群衆管理、警備、交通管理サービスの提供も請け負いました。この競技には約200人のスタッフが配置されました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

StadiumTMはミルトン・キーンズでのラグビーW杯の三試合にスチュワーディング、警備、ホスティングスタッフを提供しました。合計100人のスタッフからなるチームを派遣し、そのうちの80人はスチュワーディングと警備スタッフでした。政界の重鎮、人気スポーツ選手、著名人といった試合を観戦するVIPのお世話を担当するホスティングのスタッフ20人も必要となりました。ホスティングスタッフは全身黒スーツのスマートな服装で、ダブルツリー・バイ・ヒルトン・ホテルのレセプションでVIPをお迎えして、ボックス席やVIPバーにエスコートしました。三試合を観戦した多くの有名人の例としては、英国王室ヘンリー王子、RFU(イングランドラグビー協会)協会長ジェイソン・レナード、ワールドラグビー会長ベルナルド・ラバセ、フランスの前スポーツ担当大臣ベルナルド・ラポルト、各国のラグビー選手など。



Stage One Creative Services

Hangar 88, Marston Business Park,
Tockwith, Yorkshire YO26 7QF, UK.
www.stageone.co.uk

Tim Leigh
Sales & Marketing Director
+44 14 2335 8001 +44 79 2121 2976
tim.leigh@stageone.co.uk

Stage Oneは、式典、舞台、イベント、建築の分野で業務を行っています。当社の独特の強みは創造力で、クライアントのアイデアがどんなに過激なものであっても、それに命を吹き込む方法を見つけ出します。ヨークシャーを拠点としており、共同で取り組むアプローチを用いて多様なプロジェクトを手掛け、型にはまらない仕事をしてきました。たとえば国際的な開会式向けに空中飛行システムや舞台装置を用意するなどです。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

当社は2004年以降全ての夏季・冬季オリンピックに携わってきました。またその他にも、数多くの国際的舞台でのイベントに、ステージ、セット、舞台装置、飛行装置を提供してきました。イベントには、コモンウェルスゲームズ、東南アジア競技大会、パンアラブ競技大会、アジア競技大会などが挙げられます。当社はおよそ2012年ロンドンオリンピックのトーマス・ヘザウィックのデザインによる象徴的な聖火台の制作で、最もよく知られているでしょう。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

スタジアムの上を動くものがあつたなら、それを飛ばしたのは私たちです。舞台の下から現れたものがあつたなら、それを持ち上げたのは私たちです。

当社のケーブルネットシステムやオートメーション、巨大な聖火台のリフトを含むステージリフトは、2012年ロンドンオリンピックの幕を開ける魔法を生み出すのに役立ちました。

歴史上の最も大きな転機の場面では、当社の制作した巨大な水車が産業革命の中を生き延び、当社のチームエンジンが上下に動き、当社のケーブルネットが煙突を地面から引き上げ、パフォーマーが空を飛び、鍛造された五輪が再形成され、自転車に乗った鳩が飛び回りました。

そして聖火台が登場しました。最新技術を使った機械工学と、職人の手で作られた銅の花びらを組み合わせた美しい動く彫刻でした。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

当社は、2015年ラグビーワールドカップの開会式の舞台装置とステージリフトの要素を実施するための入札プロセスに関与しました。供給パートナーとしては選出されませんでした。



Star Events Ltd

Milton Road, Thurleigh, Bedford,
Bedfordshire MK44 2DF, UK

www.StarEventsLtd.com

Roger Barrett
Special Projects Director
+44 12 3477 2233
Info@StarEventsLtd.com

Star EventsはAltrad Beaver 84の子会社で、40年にわたってイベント産業に機器やサービスを提供しています。世界的に非常に注目度の高いイベントの他にも数多くの小規模の地域イベントや商業イベント向けに、ステージ、構造物、座席、装置の設計・提供を行ってきました。観客数にかかわらず、そのイベントごとの状況を慎重に考慮して、信頼できる機器、サービス、安全性を提供しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2014年ソチオリンピックでは、特注の部品と会社の標準仕様の製品一式を組み合わせ、NBCのスタジオスペースを設置しました。このスペースは2階建て構造となっており、上の階にはオリンピックの聖火をバックにした5m×5mの生放送用のブースが3つあり、正面のバルコニーと裏の階段でつながっていました。下の階にはそれより狭い2.5m×5mのブースが設置され、米国のNBC系列のニュース局に割り当てられました。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

オリンピックパーク第1ライブ会場であったライブパークに132㎡のビデオスクリーン2面、クラウドエンターテインメント用ステージ、完全装備のTVスタジオ1つ、関連支援施設を設置するため、リー川に画期的な仮設構造物という解決策を提供しました。最終的な外観を製作したTier 1スポンサーのプリティッシュ・エアウェイズのアクティベーション・エージェンシーであるM-is社が参加したこともあり、Star Eventsは予算に合わせて、わずか13週間でプロジェクトの計画立案、設計、監督をすべて実施し、6週間で構造物全体を建設しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

2015年ラグビーW杯の支援として、O2アリーナの屋根に世界最大のプロジェクションを実現するため、パナソニック製プロジェクター48台と可動照明144台を設置しました。イベント装置とローアクセス技術を組み合わせた複雑な設置計画でしたが、ビデオカメラとスチールカメラを持ち上げることが可能なベルト式電動ウインチ装置を設置して、会場の屋根から50m上の支柱の上を光で満たすことができました。

内側と外側の両方から三段階で固定するため、正確に角度を設定して絶対精度を確保することが必要でした。対象範囲を完全にカバーするために、追加のプロジェクター支持塔を隣接するビルとO2アリーナの周辺に設置しました。



Steer Davies Gleave

28-32 Upper Ground,
London, SE1 9PD, UK

www.steerdaviesgleave.com

Simon Hall
Associate, Head of Sports and Major Events
020 7910 5000
Simon.Hall@sdgworld.net

1978年創設のSteer Davies Gleaveは、スタジアムやメジャースポーツイベントの輸送コンサルティングで業界屈指の企業であり、世界でも最大規模を誇る、独立した輸送・交通・群衆行動コンサルティング会社です。独立ということは、わが社が特定の技術や金融ソリューションを宣伝する必要も動機もないということであり、難しい状況にも革新的なソリューションの実施を支援できます。総合的な輸送ソリューションの開発と実施のため、世界各地に専門家を配置しています。対象となるのは、複雑な環境、特に、イベントの運営やスタジアム管理、観客の移動など人やモノの大量輸送で、技術に基づいた確固たるモデリングや、スタジアムやメジャースポーツイベント部門の深い知識を有しています。具体的なサービスは以下の通りです。(1) イベント向け輸送戦略策定 (2) 輸送・群衆行動モデリング (3) 設計支援 (4) インテリジェントモビリティおよびデジタルソリューション (5) ウェイファインディング (6) 大会運営管理など。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

これまで以下のような世界各地の大会やスタジアムに携わってきました。

(1) 2014年サッカーW杯(ブラジル)大会 (2) 2018年コモンウェルスゲームズ(ゴールドコースト)大会 (3) 2011年、2013年、2017年UEFAチャンピオンズリーグ決勝戦 (4) 2014年ツール・ド・フランス、グランデパール(リーズ、イギリスヨークシャー地方) (5) 2014年コモンウェルスゲームズ(グラスゴー)大会 (6) エミレーツスタジアム(アーセナルFC) (7) トゥイックナムスタジアム(イングランド・ナショナル・ラグビー・スタジアム) (8) AVIVAランズ・ダウン・ロード・スタジアム(アイルランド・ナショナル・ラグビー&サッカースタジアム) (9) クロークパーク(ゲールスポーツ専用アイルランド・ナショナル・スタジアム) (10) ウェンブリーススタジアム(イングランド・ナショナル・サッカー・スタジアム)

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

弊社は2012年ロンドン大会で、誘致の初期段階からパラリンピックの閉会式の計画策定まで6年間にわたり、輸送と群衆行動に関する業務を幅広く担当し、以下を実施しました。弊社は2012年ロンドン大会で、誘致の初期段階からパラリンピックの閉会式の計画策定まで6年間にわたり、輸送と群衆行動に関する業務を幅広く担当し、以下を実施しました。(1) 開催候補地ファイル「Bid Book」の輸送に関する章に情報提供 (2) オリンピック・ルート・ネットワークの初期案策定 (3) オリンピックスタジアムの群衆行動モデリング (4) オリンピックスタジアムの輸送ルート全域の設計 (5) 観客およびオリンピック関係者の移動パターンの予測 (6) オリンピックパークでのバスレーンの運用プランの構築 (7) 公式文書「Olympic Transport Plan」(オリンピック輸送計画)のグラフィックデザインおよび出版 (8) 中央、西ロンドンおよびオリンピックパーク会場周辺地区の大会開催時輸送運用管理

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

弊社は2013年に2015年ラグビーW杯(イングランド)大会組織委員会(ER2015)からオフィシャル・トランスポート・プランナー(公式輸送計画策定担当)に任命されました。使用される13の各スタジアムおよびトゥイックナム・ファン・ゾーンの観客輸送計画を策定しました。トゥイックナムでは、革新的な輸送戦略を開発し、ファンがこれまでにない体験を味わえるよう広範な交通管制を実施しました。トゥイックナムの各試合の輸送管理は、サイモン・ホールがスタジアム管理室で行いました。また、RWC2015の公式交通案内プログラムも構築。大会中60万件以上の移動計画に利用されました。このプログラムは栄えある賞も受賞し、高く評価されています。



日本のビジネス・パートナー、販売代理店
株式会社ジェイティービー
〒140-8602
東京都品川区東品川 2-3-11
JTB ビル
s_aoe334@hd.jtb.jp

STH Japan

Akasaka K Tower 4th Floor,
1-2-7 Moto-Akasaka, Minato-ku,
Tokyo 107-0051, Japan
www.sthgroup.uk

Brendan Delahunty
President and Representative Director
03 6890 3020
Brendan.delahunty@sthjapan.com

STH Japanの取引先は、世界最大級のスポーツのイベント企業やブランド企業です。当社は世界中でスポーツ、トラベル、ホスピタリティ関連のプログラムのマーケティング、販売、運営を行っており、観衆が最高の体験をするための新たな基準を打ち立て、イベントにおけるブランドの真の価値を高めています。

スポーツホスピタリティ市場における他の追随を許さない経験を保有する当社では、スポーツブランドと提携して、ブランド戦略やマーケティング計画の作成を行っております。戦略や計画を練ることでお客様のロゴ、ブランド、ユニフォームがしっかりと調和し合い、目に見える形でビジネスの目的達成手段を生み出します。そして、最良の成果を挙げるために、適切なメッセージを掲げて、適切な対象者に的を絞ります。

当社の強みの1つを挙げると、各イベント毎に専任の販売チームを形成し、研修していることです。つまり、そのチームはお客様の事業目標の実現に向けて100%専念することができ、またこれにより、過去8年間でトラベルとホスピタリティにおける総売上額は、5億ポンドを超えました。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2007年、2011年、2015年ラグビーW杯、UEFA EURO 2016、ICCチャンピオンズトロフィー、2016年UCIトラックサイクリング世界選手権ロンドン大会、2016年ICCワールド・トゥエンティ20のグローバル・トラベル・パートナー

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

プレステージ(2012年ロンドンオリンピックでのSTHホスピタリティの法人名)の目的は、世界各地からの来訪者のために世界に通用するホスピタリティサービスを提供することでした。ロンドン大会のために公式なブランディングをし、大会がオリンピック体験の中心に明確に位置付けられ、権利者の価値が当社の提供するあらゆるサービスの根幹となっていることを際立たせるようにしました。

当社が管理した多くの会場に仮設のホスピタリティスペースを設置して、提供する食事、サービス、エンターテインメントは間違いなく一流のものにすることを目指しました。オリンピックパークには、1日あたり最大3,000人のゲストを収容できる専用施設を、オリンピックスタジアムからわずか80メートルのところに設置しました

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

トゥィッケナムスタジアムは最も重要なトーナメント会場であり、注目度の高い試合の大半と決勝戦が開催されることになっていました。同スタジアムに隣接して設置した3つの仮設建造物も含む合計7カ所のホスピタリティエリアの設計・建設を行いました。

当社の様々なパッケージに対してはかつてないほどの需要を経験し、この大会をラグビーW杯の歴史の中で最も商業的に成功したホスピタリティプログラムにすることができました。この時のホスピタリティプログラムの成功はチケット・テクノロジー・アワードでも評価され、当社のプログラムは年に一度開催されるチケット・テクノロジー・アワードで、最優秀賞のプレミアム/VIPチケット・アワードに選ばれました。



STRI Group

St.Ives Estate, Bingley,
West Yorkshire BD16 1AU, UK
www.strigroup.com

Andrew Brooker
Head of Group Business Development
+44 12 7456 5131 +44 79 7705 1343
+61 456 697 771
Andrew.brooker@strigroup.com

STRIは世界トップレベルのスポーツ芝のコンサルティング会社です。すばらしいスポーツシーンを可能にし、あらゆる能力を持つアスリートが最高のパフォーマンスを行なえるよう、世界トップクラスのサーフェス面をつくり出します。高度なスポーツ関連知識を駆使してサステナビリティを推し進め、将来にわたり利用可能な設計を行うことで会場やトーナメント、大会のレベルを高めます。専門知識豊富なコンサルタントが、スポーツサーフェスの設計・施工・管理で、お客様のニーズに合わせた、質と費用対効果の高いソリューションを提案いたします。

さらにSTRIでは、個別のスポーツサーフェスに適合したリサーチプロジェクトや製品試験も毎年実施しております。弊社の専門知識や技術は、80年以上にわたり世界中のスポーツサーフェスの向上にむけて研究を重ねたことで構築されました。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

FIFAワールドカップ、UEFAヨーロッパチャンピオンシップ、オリンピックの各大会で使用されたピッチの整備を立案。顧客にはR&A、ウィンブルドン選手権、スポーツ・イングランド、RFUなどを含みます。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ロンドン大会サッカー競技のために、地元のスポーツクラブ、大学、運動場で24のトレーニング会場の評価・改善・管理を担当。各競技場のプレーの質に与える影響と会場が使える予算分析などを詳細に行いました。また、弊社は日々のメンテナンス運営、必要な資金や機器を盛り込んだピッチ・マネジメント・プランを各会場に導入しました。リスクを特定し、各会場に応じた緊急対策をチェック。実際には使用肥料の変更から、エアレーションや芝刈りの作業、灌漑や排水システムの設計・導入まで実施しました。



SUSTAINABLE EVENTS LTD

Sustainable Events Ltd

1st Floor Fourways House,
57 Hilton Street, Manchester M1 2EJ, UK

www.sustainableeventsltd.com

Emma Owens
Partnership Development Manager
+44 77 3485 2465
emma@sustainableeventsltd.com

Sustainable Eventsはイベント産業における国際基準および持続可能性報告の枠組みの実施において、世界トップレベルを誇るエキスパートです。

クライアントを初期の段階から順調に実施へ向かわせ、そしてISO 20121の第三者認証へと導くことを専門にしています。さらに、GRI-EOSS(イベント主催者向けの持続可能性報告ガイドライン)、および国連の持続可能な開発目標に基づく報告に関するオンラインサポートを行っています。

世界各地に20以上の専門的な研修を受けた関連会社があります。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

下記提携先と連携し、ISO 20121をISO 20121の第三者認証のレベルまで実施し、持続可能性の問題を特定するためにステークホルダーエンゲージメントのイベントを開催したり、GRI-EOSSを満たすような報告制度を構築してきました。提携先: コモンウェルスゲームズ・ゴールドコースト大会、リオ2016、英国陸上競技選手権大会、オールド・トラフフォード・マンチェスター・ユナイテッド、コカ・コーラ・オリンピックアクティベーションチームスポーツ・イベントにサービスを提供するホテル、会場、製造会社、請負業者とも連携しています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

弊社の社長は、2012年6月のロンドン大会で実施されたISO 20121の策定に向けた国際会議で議長を務め、2012年ロンドン大会での取り組みが終わるまで任務を全うしました。

2009年から2012年の間に弊社は多くのプレゼンテーションを行い、2012年ロンドン大会の持続可能性チームには持続可能性の問題の特定を支援し、イベントサプライチェーンのメンバーにはISO 20121の実施およびその影響の測定を支援しました。

2012年当時は、イベントに関する持続可能性の知識は現在に比べると遅れていました。

SUTTON VANE ASSOCIATES
LIGHTING DESIGN

Sutton Vane Associates

Dimes Place
106-108 King Street
London W6 0QP, UK
www.sva.co.ukMark Sutton Vane
Managing Director
+44 20 8563 9370
m.suttonvane@sva.co.uk

独立系照明デザインコンサルティングのSutton Vane Associatesはビジネス、スポーツ、レジャー、ホテル、公共スペース、住居などあらゆる場所の建築照明デザインを手がけています。その作品は、都市向けの照明マスタープランから、博物館やレジャー施設のプロジェク、展示会、特別委託の照明アートまで幅広くあります。

トップ照明デザイナーのマーク・サットン・ヴェインが事務所を構えたのは1995年。それ以来、英国はもとより欧州、中東、アジア、アフリカ各地の屋外・室内照明プロジェクトで数々の賞を受賞し、現在では世界の照明デザイナートップ10に数えられています。

特に、2012年ロンドンオリンピックではオリンピックパークの照明デザインをすべて担当しました。また、その他にも数々のスポーツ開催地の照明コンセプトのデザインを幅広く経験しています。サッカースタジアム、陸上競技会場、トレーニング場、ピジターセンターのような広い場所から、メンバー専用クラブや個人宅のように狭い場所までさまざまです。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

スポーツ会場:

2022年カタールFIFAワールドカップの一環として、カタールにあるアル・ラーヤン・スタジアムとスタジアム周辺の建物・地域の外部と内部の照明

アル・ファイサル・スタジアム(サウジアラビア、ジッダ)のビジュアルコンセプトの詳細

カタールのスポーツ選手育成機関アスパイア・アカデミー・フォー・スポーツ・エクセレンス(Aspire Academy of Sports Excellence)の照明デザイン

ロンドンの有名な美しいロイヤル・オートモービル・クラブ(RAC)のスイミングプールをはじめとするプール施設

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

オリンピックパーク敷地全体と公共部門照明デザイン、2012年ロンドン大会オリンピックパークのマスタープランを担当。これには、パークのデザインとレガシーのデザインの両方が含まれています。また、会場の照明に対する考え方全般だけでなく、持続可能性や安全性、セキュリティ、誘導など実践的な問題にも取り組みました。

2012年ロンドン大会でオリンピックパークの照明が大成を飾った結果、ディレクターのマーク・サットン・ヴェインは2012年ロンドンオリンピックの照明部門レガシーアンバサダーに任命されました。



SV Event Consulting Ltd

39 Begbie Road,
London SE3 8DA, UK

www.sv-eventconsulting.com

Sandro Volpato
Director

+44 75 0005 6615

info@sv-eventconsulting.com

イベント運営、認証プログラム立案、警備計画との統合、政府治安当局との連絡を専門とするコンサルティング会社。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2017年イスラム諸国連合競技大会(バクー)

2016年リオデジャネイロオリンピック

2015年パンアメリカン競技大会(トロント)

2012年ロンドンオリンピック

2010年バンクーバー冬季オリンピック

2006年トリノ冬季オリンピック。

この他に、2020年ドバイ国際博覧会、2017年アスタナ国際博覧会、2015年ミラノ国際博覧会。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ロンドンオリンピック・パラリンピック組織委員会(LOCOG)の認証業務管理者として採用され、競技会場全域での業務計画と実施、LOCOG警備部門と内務省との統合に対する責任を担う。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

認証関連資材サプライヤーのコンサルタント。

tangerine

Tangerine

Unit 9, Blue Lion Place,
237 Long Lane,
London SE1 4PU, UK
www.tangerine.net

Yuichi Ishihara 石原 祐一

Creative Lead / Head of Japan Business

+44 20 7357 0966 携帯: +44 75 9027 3237

yuichi@tangerine.net

タンジェリンは50以上の国際デザイン賞に輝く世界有数の戦略的デザイン会社です。25年にわたるクライアントリストには世界的企業が名を連ね、イノベーションとデザインを通じてブランドを成功へと導いてまいりました。

10カ国以上からなる国際色豊かなクリエイティブチームが企業が抱える様々な課題を、革新的デザインやサービスを創造することで解決しています。プロセスとソリューションを通じてビジネス価値を大幅に高めるべく、クライアントと密に連携しています。

ロンドン本社の他にブラジルと韓国に拠点をもち、クライアント企業とエンドユーザーの両方にとって特別なエクスペリエンスを創造し、ワールドクラスのデザインによってブランド力を高め、グローバルマーケットでの成功へと結びつけています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2012年ヒースローエクスプレスのファーストクラス向けシートおよび車両デザイン

王立造幣局発行の2014年グラスゴー・コモンウェルスゲームズ記念コインのデザイン

2015年スヌーズボックス社のポータブルホテルコンテナのデザイン

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ロンドンオリンピック開催に合わせ、ヒースロー空港とロンドン中心部を結ぶ高速鉄道: ヒースロー・エクスプレスの一等車両のデザイン改修をタンジェリン社が担当。

海外からの旅行者が最初に目にする、ロンドンのアイコンの性質上、限られた期間・予算の中でも革新的デザインを生み出すことが求められ、結果高級感溢れる快適なインテリアと最良のカスタマー・エクスペリエンスを実現させました。

<http://tangerine.net/our-work/first-class-vision-heathrow-express-train-interior/>

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

国際的イベント中の宿泊施設不足を補うため、スヌーズボックス社と協業しポータブルホテルを設計しました。従来のコンテナホテルのクオリティを超えた快適性とエレガントなデザインと、独自のエンジニアリングデザインにより24時間以内で100室を展開・回収する機能性を両立させました。会期後の現在も欧州中の様々なイベントで運用されています。

<http://tangerine.net/our-work/hotel-room-design-snoozebox-portable-accomodation/>

日本のビジネス・パートナー、販売代理店
タンジェリン

日本ビジネス主管 / 石原 祐一

携帯: +44 75 9027 3237

youace@me.com



日本のビジネス・パートナー、販売代理店
コフフ・フィールド株式会社
 〒 812-0892
 福岡県福岡市博多区
 東那珂 2-19-25
 092 481 8639
 world@kofu-field.com

Terraplas

The Barn, Hall Farm House, High Street,
 Castle Donington. DE74 2PP UK

www.terraplas.com

Robert Else
 Chairman
 +44 13 3281 2813
 relse@checkers-safety.com

掃除機といえばHoover、ティッシュペーパーといえばKleenex、そして芝の保護といえばTerraplas。それには理由があります。品質や性能に一切の妥協なし——Terraplasを使えば、最高の舞台が用意できます。データ：Terraplasシステムは25年以上使用可能。立証済みの耐久性にこれほど優れた製品は他にありません。これで、ウェンブリー、プリンスパリティ、NSCオリムピスキ、FNB、マイアミ・マーリンス、ルジニキの各スタジアムが(わずかな例にすぎませんが) Terraplasを選んだ理由がお分かりいただけるのではないのでしょうか？ イベントの種類も、開催地にも関係ありません。Terraplasの製品は高品質な芝を大勢の観客やステージ、重機からしっかりと守る唯一のソリューションとして広く評価されています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

FIFAワールドカップ、EUROチャンピオンシップ、オリンピック、コモンウェルスゲームズ、ワールドユースデーなどのイベントで、持続可能性を証明しました。

多目的利用されている、ほぼ世界中のナショナルスタジアムでTerraplasの製品が選ばれています。ウェンブリースタジアム、プリンスパリティスタジアム、NSCオリムピスキ、FNB、マイアミ・マーリンス、ルジニキスタジアム、その他にも数多くの米国のスタジアムが例外なくTerraplasの優位性を評価し、選択しています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

Terraplasの製品は、ロイヤル・アーティラリー・バラックスの射撃競技会場や、マウンテンバイク競技のベース部分として使用されました。

さらに、オリンピック会場の警察詰所および警備施設でも1万2,000m²に使用されました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

Terraplas製品の上にホスピタリティヴィレッジが設置されました。

Trivandi Limited

119 Cannon Workshops, 3 Cannon Drive,
 London E14 4AS, UK

www.trivandi.com

Paul May
 Executive Director
 +44 20 7538 5404
 paulmay@trivandi.com



Trivandiは大規模イベント、スポーツ大会やレジャーの企画から実施、運営のアドバイスをを行います。

創立は2013年、ロンドンオリンピック組織委員会 (LOCOG) で会場及びインフラストラクチャー部門の上層部リーダーを務めたメンバーが集まり立ち上げました。

ロンドンオリンピック2012のレガシーでもあるTrivandiは、ロンドン大会の実施・運営で培われた専門知識を伝授し、この4年間、17カ国で業務を展開してきました。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2016年リオデジャネイロオリンピック: リオデジャネイロオリンピック組織委員会の幹部チームに、会場開発部門への出向という形で、大会の計画作りと準備に関してアドバイスと指導を実施。さらには、オーバーレイ調達プログラムに関する戦略的アドバイスと支援も行いました。

2014年コモンウェルスゲームズグラスゴー大会: Trivandiの役割は、戦略面における専門的アドバイスの提供、オーバーレイプロジェクトの管理、会場管理、健康、安全のアドバイス、利害関係者の管理など。

2020年東京オリンピック: 東京都および東京オリンピック・パラリンピック組織委員会に競技会場マスタープラン、運営計画、競技会場概要および設計、ガバナンスに関してアドバイスと支援を提供。

これまでに携わった主な大会でアドバイスを提供したのは、2022年FIFAワールドカップカタール大会、エキスポ2020ドバイ、2019年パンアメリカン・ゲームリマ大会、第50回スーパーボウル(サンフランシスコ)、2017年世界水泳選手権(ブダペスト)、2016年UEFAチャンピオンズリーグ決勝(ミラノ)、第5回アジアインドア・マーシャルアーツゲームズ(2017/アシガバード)など。その他にも、中国、オーストラリア、カタール、アブダビ、英国のプロジェクトで会場実施に関するアドバイスを提供。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

Trivandiチームはロンドンオリンピック組織委員会では会場及びインフラストラクチャー部門の上層部リーダーを務め、競技会場の企画・実施・運営を担当、入札から運営、組織解体までを経験しています。担当した競技会場は全37会場の他、大会運営上極めて重要な役割を担った80余りの競技会場以外の施設。

Trivandiのメンバーは具体的に、会場マネジメント、会場設営・オーバーレイ、イベントサービス、オリンピックパーク運営の各チームの業務で責任者を担当。実際に競技が行われるまで、競技会場の計画、実施、運営の全工程をカバーしていました。



TrueGold Communications

26 Kingscliffe Gardens,
London SW19 6NR, UK

www.truegoldcommunications.co.uk

Michael Cole
CEO and Cofounder
+44 75 0104 1797

michael@truegoldcommunications.co.uk

TrueGold Communicationsは、真の実践者のマーケティングとコミュニケーションの専門知識を提供する専門的なコンサルティング会社であり、企業や組織がスポンサーシップやスポーツにおける表彰台のパフォーマンスを模索するのに貢献しています。

弊社は、質の高い戦略的アドバイスや戦略の実行、スポンサーシップ/キャンペーン後の評価を含む、専門家による全方位的なサービスを提供しています。評判も信頼性も高いTrueGoldのアソシエートネットワークは、2004年アテネオリンピック以降の大規模スポーツイベントから培われた企業スポンサーシップや組織委員会レベル両方での広範囲な経験を基にしています。私たちは企業理念を理解しており、権利の所有者であれ出資をするブランドであれ、組織全体で魅力的な活性化プログラムを作り出すためにどうすればスポンサーシップを十分活用することができるかを理解し、スポンサーシップの重要性を知っています。

弊社は、独特な立場で一流のマーケティング、PR、スポンサーシップに関するアドバイスをクライアントに提供します。豊富な企業実績を持つとともに、技術を基盤としたスポーツのスポンサーシップと世界的なイベントに特に重点を置いているため、クライアントに完全一体型のマーケティングソリューションを提供することができます。スポンサーシップサービスは多岐にわたり、たとえば下記が挙げられます。

- スポンサーシップ戦略とプログラム開発
- スポンサーシップ権の監査と評価
- 活性化計画の立案と予算管理
- プログラム評価とROI評価
- 企業と運営の広報計画立案(危機コミュニケーションを含む)
- 新たな事業計画立案、営業実施可能性、クライアントの契約活性化

業務の進め方はそれぞれのクライアントの要求に応じて調整し、またいつでも確実に、一流のサービスを予算内で期限を守って提供します。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

当社は2010年バンクーバーオリンピック、2012年ロンドンオリンピック、2016年里オデジャネイロオリンピック、2018年平昌オリンピック、2020年東京オリンピック、その他様々な大規模スポーツイベントの経験があります。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

共同設立者のマイケル・コールは、かつてBT Global Services で2012年ロンドンオリンピックのマーケティング・広報ディレクターを務めました。マイケルは、BT Global Servicesが実施し大成功を収めた2012年ロンドンオリンピック・パラリンピックの世界的なマーケティングキャンペーンの活性化の責任者であり、また高い評価を受けたBTによる2012年ロンドンオリンピックの実行プログラム全体の運営・危機コミュニケーションの責任者でもありました。



Ultra Electronics Limited

Bridport Road, Greenford,
Middlesex UB6 8UA, UK

www.ultra-electronics.com

Chris Binsley
Strategy Director
+44 16 1946 7324
chris.binsley@ultra-electronics.com

Ultra Electronicsでは、防衛、宇宙、サイバー&セキュリティ、輸送、エネルギーの各市場で独自性の高いソリューションや製品を生み出せる専門性に特化した製品ラインナップを提供しています。

弊社が提供するシステムや対応力は、セキュリティ、インテリジェンス、サイバーマーケットの各分野が対象で、安全な通信、ネットワーク、ハイスpekな暗号機、主要な管理システム、監視・情報収集システムに特化したものも含まれます。

弊社の総合的なホームランドセキュリティシステムは、重要な国家インフラを安全にネットワーク化することが可能で、保全も充実、刻々と変化する目の前の脅威に対してもしっかりと検知・監視・対策が行われます。

弊社のシステムは、2012年ロンドンオリンピックなど、英国で開催されてきた多くの大規模な大会や警備計画を連携・管理するために使用されてきました。このような実績から、同システムは2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピックのようなこれからの大会の支援にもお役に立ちます。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

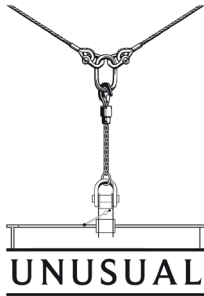
メジャーなイベントや大きな事件、さらには通常の警備業務でも、高度な統合コマンド・コントロールや資源管理の機能を提供するために、Ultraのシステムは幅広く活用されています。

2000年のミレニアム祝賀イベント、世界最大規模のフェアフォード空軍基地エアショー、多くの大規模な音楽のコンサートやイベント、2005年のロイヤルウェディング、2012年ロンドンオリンピックなどのトータルな指揮統制やブランニングなど多岐にわたります。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドンオリンピックでは、英国内閣府緊急事態事務局に代り、国営レジリエンスエクストラネットなど広範な専門知識を持つ専門家を投入し、知識の共有や緊急時の対策、さらには、万が一の場合の現場の管理方法を立案。その結果、オリンピック開催中には膨大な量の情報が集積され、関係各所やオリンピック担当部署に対して効果的かつ確実な情報の提供ができました。

また、2012年に向けて、ヒースロー、ガトウィック、ルートンの各空港で空港運用システムの更新や、道路の信号監視システムや車両優先のシステム、さらには、弊社の原子力緊急警報システムの一環として、配置可能な離散型放射線検出器を提供しました。



UNUSUAL RIGGING LTD

The Wharf, Bugbrooke,
Northamptonshire NN7 3QB, UK

www.unusual.co.uk

Mark Priestley
Project Director, Major Project
+44 16 0483 0083
mobile: +44 79 7199 1707
mark.priestley@unusual.co.uk

Unusual Riggingは、仕掛装置・技術のコンサルタントおよび設計事務所です。当社は、会場照明、PA(音響)、プロトコル、映像、放送、セレモニーのニーズを満たすため、オーバーレイインフラストラクチャー分野の製作、設置、稼働を行っています。さらに革新的なソリューションを必要とするその他の専門的な「一回限り」のプロジェクトにも対応しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

本拠地を英国に置いていますが、世界各地で活動しています。2012年ロンドン、2014年ソチ、2016年リオなどのオリンピック、さらには2014年コモンウェルスゲームズ(グラスゴー)、2015年ヨーロッパ競技会(バクー)などその他のメジャーなスポーツイベントに、仕掛装置・技術サービスを提供しています。各大会の組織委員会やホスト・ブロードキャスターに協力しています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

ホスト・ブロードキャスターに、特殊カメラを設置するためのインフラストラクチャーを供給しました。開会式および閉会式の仕掛装置一式をロンドンオリンピック・パラリンピック組織委員会(LOCOG)に供給しました。旗、表彰式など、式典装置をLOCOGに供給しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

式典の仕掛けのための装置を供給しました。ライブサイトのスクリーンを設置しました。

Viandengroup Ltd

2 Braunston House, Tallow Rd.,
London TW8 8ET, UK

Len Olender
Director
+44 77 7155 3766
len@viandengroup.org

レン・オレンダー率いるViandengroupは、ホスピタリティプログラムの策定・実施、スポンサーや大会開催都市に対する知識の移転、国際大会に関わるサービスによる地域活性化などの分野でコンサルタント業務を展開しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

レン・オレンダーはオリンピック10大会、コモンウェルス・ゲームズ5大会で経験があります。スポンサーに対するホスピタリティ計画作りと実施、公式チケットやパッケージセールス、活動拠点となるナショナルハウスなどの各国国内オリンピック委員会への支援を提供しています。

そのほかには、FIFAワールドカップ、ラグビーワールドカップ、ウィンブルドン選手権などの経験があります。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

レン・オレンダーは2012年ロンドン大会で400人のチームを率い、以下のような様々なサービスを提供しました。サムソンやBT、BMW、デロイト、アグレコ、アデコ、IHG、エアウェーブ、ロンドン市長など企業に対するホスピタリティサービスの代行、コンサルティング。

23カ国の各国国内オリンピック委員会向け公式チケット再販。

オリンピック関連顧客の宿泊施設・輸送・スタッフ・レストラン・開催地・ツアーの手配、現地運営サービスなど。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

英国からのパッケージツアーの販売、実施。
開催都市の業務やビジネスチャンスに関するコンサルティング。



日本のビジネス・パートナー、販売代理店
WDSI Limited
 〒101-0044
 東京都千代田区鍛冶町 1-5-3-501
 泰成ビル株式会社内
 石井俊成
 03 3253 8718
 nariishii@gmail.com

WDSI Limited

354 Omega Court, Cemetery Road,
 Sheffield S11 8FT, UK

www.wdsiasia.com

Andy Coney
 CEO

+44 84 5862 8680

Andy.coney@wdsiasia.com

WDSIは高密度、広域独立ワイヤレスネットワークの設計やフルターンキーソリューションを専門に提供する会社です。公衆WiFiであれ企業WiFiであれ、モバイルソリューションであれ、弊社はスタジアム、娯楽・観光施設、小売店、多国籍企業に対しネットワークを構築、運用します。顧客の要望がどのようなものであっても、弊社はその要望にあったワイヤレスネットワークを管理されたサービスを提供します。また、IoT環境に求められるワイヤレス環境を設計から運用までのソリューションを提供します。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

弊社は、主要な競技施設のワイヤレスに関する運用やファンエクスペリエンスWiFiを支援します。英国市場でのベンダーフリーの独立したワイヤレスネットワークデザインや運用において、弊社はパイオニアであり、すでにリバープールFC、アーセナルFC、ウェンブリー、トゥイッケナムスタジアム、バスケットボールやクリケットの競技施設などと仕事をしています。弊社の実績は豊富でかつ独特で、これらの顧客に高い信頼を寄せて頂いています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドンオリンピックでは英国の大手通信事業社のWi-Fiネットワーク運用支援の実績があります。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

弊社はラグビー協会のワイヤレスネットワークサービスの運用パートナーで、2015年ラグビーW杯では期間中90万人以上が訪れたトゥイッケナムスタジアムのファンゾーンにサービスを提供する承認を組織委員会から得ました。そして、頑強なワイヤレスやケーブルのネットワークインフラを設計、構築、運用する支援を行い、このインフラにより、来場したファンが利用するネットワークをはじめ10の異なる運用ネットワークが提供されました。これにはホスピタリティ、セキュリティ、チケット発券、販売時点情報管理、非接触技術、デジタルルート検索、ファン向けアプリなどが含まれます。このプロジェクトは大成功を収めたため、弊社は現在でも英国ラグビー協会のトゥイッケナムスタジアムでのすべてのイベントにサービスを提供しています。

WilkinsonEyre

WilkinsonEyre

33 Bowling Green Lane,
 London EC1R 0BJ, UK

www.wilkinsoneyre.com

Michelle Lewis

Head of Communications

+44 20 7608 7900

m.lewis@wilkinsoneyre.com

WilkinsonEyreは国内外で賞を獲得したプロジェクトを実績に持つ世界をリードする建築事務所の一つです。1983年の設立以来、多岐に渡る市場部門で大胆で美しく知的な建造物を建築し、実績を積み上げてきました。私たちの業務は、情報に基づくテクノロジーとマテリアルの利用をベースとしており、新しいものを求める精神への献身と背景への配慮を兼ね備えています。この手法を用い、当事務所は、広州国際金融センターとシンガポールのガーデンズ・バイ・ザ・ベイの低温温室が、名誉あるRIBA(王立英国建築家協会)リュベトキン賞を受賞し、またゲーツヘッド・ミレニアム橋とMagnaの建築についてはRIBAスターリング賞を受賞するなど数多くの賞を獲得しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

WilkinsonEyreは、2016年リオデジャネイロオリンピックのオリンピック・パークのマスタープランの国際デザインコンペで勝ちぬいたAecomのチームの一員でした。マスタープランには、2016年リオデジャネイロオリンピックのオリンピック・パーク、移行プラン、2016年以降の最終レガシーモードという3つの段階が含まれています。

WilkinsonEyreはカリオカアリーナの計画設計を担当しました。カリオカアリーナは、オリンピック・パークの中で最も大きな会場で、レガシーの定義に大きく貢献するとされている建物です。

カリオカアリーナは3つの独立したアリーナから成り、観客席は合わせて36,000席です。オリンピックのバスケットボール、柔道、テコンドー、レスリング、パラリンピックの車椅子バスケットボール、車椅子ラグビー、ボッチャ、シッティングバレーボールの会場に予定されています。

革新的なデザインにより、最小限の調整でオリンピック終了後エリート・アスリート・トレーニング・センターへと転換されます。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2012年ロンドンオリンピックは、かつてないほど地球に優しくたと世間には認められ、弊社によるバスケットボールアリーナのデザインは建築的な面からの融合に重要な役割を果たしました。課題だったのは、単に建設しやすく、大会が終わればレガシーという観点から環境を壊さず利用できる一時的な建物を建てるというだけでなく、最も人気のあるオリンピックイベントでの世界レベルの競技会場を提供することでした。

2007年11月、SKM/WilkinsonEyre/KSSのデザインチームはアリーナの建設を任命され、オリンピック終了後は建物内の材料と構成要素の3分の2を再利用またはリサイクルする方法を考案しました。大会期間中、アリーナは12,000人を収容してバスケットボールやハンドボールの試合が行われ、パラリンピックでは収容人数を10,000人に減らして車椅子バスケットボールやラグビーの試合会場となりました。



Wilson Owens Owens Limited

Unit 5, The Piano Works,
113-117 Farringdon Road,
London EC1R 3BX, UK
www.wilsonowensowens.com

Kevin Owens
Director
+44 20 7965 7566
kevin@wilsonowensowens.com

WilsonOwensOwens (WOO)は2012年ロンドンオリンピックでデザインを指揮する役割を担ったデレク・ウィルソンとケヴィン・オーウェンスによって大会後に創設されました。WOOの設立者である2人には、スポーツやイベントの建築物に関する25年以上の経験があります。

WOOのチームはスポーツやイベントの設計・実施における幅広い知識や専門技術を提供できます。建築家で構成される多分野にわたる設計チーム、都市計画立案者、インテリアデザイナー、元プロアスリートが集結しているWOOのチームは唯一無二の集団です。

最近では、チームはイベントの指揮からオーバーレイ計画まで多岐にわたる設計委託に従事してきました。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2014年コモンウェルスゲームズ・グラスゴー大会:開催地最終決定アドバイザー、会場開発、オーバーレイマネージャー
ボストンの2024年オリンピック招致:主任設計アドバイザー

ローマの2024年オリンピック招致:全会場およびマスタープランの設計責任者

2014年~2016年BWFワールドスーパーシリーズファイナル(ドバイ):オーバーレイ設計およびイベントプランニング

2016年~2017年PSAワールドシリーズファイナル(ドバイ):会場設計およびオーバーレイ

2007年ウエストインディーズクリケットW杯

2000年シドニーオリンピック:会場設計およびオーバーレイ

2004年~2014年NFLスーパーボール:会場管理/オーバーレイ設計

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

オリンピックパーク、全競技会場、非競技会場を含め、組織委員会(LOCOG)のためのデザインおよびオーバーレイの責任者
デレクとケヴィンは最初の招致提案書から閉会式の終了時間まで、ロンドンオリンピック・パラリンピックのデザインを主導しました。

2人は2012年ロンドン大会のデザイン戦略を作成し、その結果、英国はオリンピックのデザイン・建築物に関する明確かつ簡潔な設計戦略を提示した最初の開催国となりました。

WOOチームはオリンピックパークから主要な非競技会場を含む34以上の個別会場に至るまで常設・仮設両方の会場についてデザイン、調整、実施を主導しました。

2015年ラグビーワールドカップイングランド大会における実績:

RWCの全会場の専任建築家兼オーバーレイ設計者

WOOは2012年後半に2015年イングランドラグビーW杯から同イベントを開催するのに最適な会場の評価・審査・推薦を行うよう任命されました。WOOチームはこのイベントの専任オーバーレイ設計者・建築家であったため、全13カ所のメイン競技会場およびチーム拠点における完全自社による建築設計およびオーバーレイ業務を提供しました。

さらに、WOOは、全体的な外観戦略、観客体験、ラストマイル・会場アプローチの開発に携わりました。オーバーレイ受託業者の調達を支援し、アリーナ社(RWC任命受託業者)の詳細設計図作成サービスを提供しました。



Zaun Limited

Steel Drive, Wolverhampton,
WV10 9ED, UK
www.zaun.co.uk

Steve Roberts
Marketing Manager
+44 19 0279 6699
info@zaun.co.uk

Zaun Groupは、最高レベルの総合的な境界警備とイベント用オーバーレイシステムの供給業者です。英国や欧州(大陸)、中東にある刑務所・水道・ガス・石油・電気・原子力に関連する常設施設から一回限りの大会まで、安全を確保します。

Zaun Groupは、シングルソースの総合的なセキュリティ・ソリューションの設計・製造・設置でその実力を発揮、国家レベルの重要なインフラ設備や高度なセキュリティが求められる現場で、物理的な対策と電子工学を駆使した対策を組み合わせながら境界警備ソリューションを提供します。

総合ソリューションには、多種多様な英国政府やLPC SR規格のフェンス、ゲート、ボラードに加え、さまざまな電子監視技術や検知システムがあります。いずれのソリューションも、セキュリティや資産保全の必要条件を満たすよう取り組む現場のオペレーターをサポートし、リスクの軽減を実現します。

Zaun GroupにはBinns Fencing社、EyeLynx社、Zaun社、Zaun Middle East社があります。エンドユーザーや大手業者、コンサルタント、認定された提携エキスパートとも緊密に連携をとり、総合的なセキュリティ・ソリューションを提供しています。

グローバルスポーツイベントにおける実績:

2014年コモンウェルス・ゲームズグラスゴー大会、NATOサミット、G8サミット、核安全保障サミット(ハーグ)、ビルダーバーグ会議、党大会

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

仮設・常設を問わず高性能なセキュリティシステムのフェンス、電子フェンス、検知システム、ゲート、敵対的車両侵入防止バリアをロンドン大会のほとんどの会場に納品。



ZIP-CLIP LTD

The Cube, Offas Dyke Business
Park, Welshpool, Powys SY21 8SS, UK

www.zip-clip.com

Steven Goldsworthy
CEO
+44 16 8662 3366
steve@zip-clip.com

Zip-Clipは、建築設備産業向けに耐震性に関する基準を満たしたワイヤサスペンションシステムを製造しています。当社の製品は、地震直後にも電気・機械・冷暖房空調設備をサポートするよう設計され、当社のシステムはすべて、UL規格(製品安全規格)に準拠して、英国内で製造されています。当社製品は、調達部品を減らし、現場が安全かつ衛生的であるように、そして最も重要なこととして、事業工程を早めるように設計されています。Zip-Clipの製品は、数多くの世界的建築家、MEP(機械・電気・配管)コンサルタントから世界的に評価を得ており、数多くのロンドンのランドマークやたくさんの世界各地の有名プロジェクトに取り入れられています。その一例が、ガーキンやザ・シャード、ウェンブリー・スタジアム、アメリカ大使館をはじめとする数多くの庁舎、ロンドン証券取引所などその他多数、ドーハのイスラム美術博物館、スキー・ドバイ、モール・オブ・ジ・エミレーツ(MOE)、ドバイのマーベルヒーローのテーマパーク、ガラスのカウボーイズ・スタジアムです。これらはZip-Clipの供給したプロジェクトのほんの一部ですが、いずれの施設でも、すべてのMEP設備に算定サービスを提供すると同時に証明書を検証し、システムを安全に使用できることを保証しています。

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会における実績:

2011年、弊社は主要なスタジアムや会場にさまざまなワイヤサスペンションを供給しました。現場の工程に遅れが生じていましたが、弊社は請負業者にサスペンション・ソリューションを提供し、その結果、請負業者は当初の完成予定日を大きく遅らせずに済みました。工期中に90万メートル以上の弊社ワイヤを提供し、弊社システムを用いての負傷事故は一件も報告されていません。そのため、指定請負業者は元請業者の設定したKPI(主要業績評価指数)を満たすことができました。Zip-Clipは日本市場にふさわしいMEP設備用のさまざまな耐震サポートシステムを提供します。



DIT

The UK's Department for International Trade (DIT) has overall responsibility for promoting UK trade across the world and attracting foreign investment to our economy. We are a specialised government body with responsibility for negotiating international trade policy, supporting business, as well as delivering an outward-looking trade diplomacy strategy

Disclaimer

Whereas every effort has been made to ensure that the information in this document is accurate the Department for International Trade does not accept liability for any errors, omissions or misleading statements, and no warranty is given or responsibility accepted as to the standing of any individual, firm, company or other organisation mentioned.

© Crown Copyright 2017

You may re-use this publication (not including logos) free of charge in any format or medium, under the terms of the Open Government Licence. To view this licence visit:

www.nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence or email: psi@nationalarchives.gsi.gov.uk.

Where we have identified any third party copyright information in the material that you wish to use, you will need to obtain permission from the copyright holder(s) concerned.

This document is also available on our website at gov.uk/dit

Any enquiries regarding this publication should be sent to us at enquiries@trade.gsi.gov.uk.

Production

any wording around paper stock and if recycled here

Published Mar 2017

by Department for International Trade

+81 (0)3 5211 1100

importfromuk.jp@fco.gov.uk